

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書（物品）

契約番号：7802

件 名	消防職員被服購入（単価契約）	
履行場所	海老名市大谷 816 番地	
期 間	令和 7 年 4 月 17 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日	
契約の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○入札は総額（税抜）の比較で行います。	
予定価格	13,555,575 円（税込）	12,323,250 円（税抜）
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）	
質疑 （同等品や仕様等 に関する事項）	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	730 縫製品	
	発注区分 区分の詳細は入札公告 で確認してください。	第 4 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	なし	
事前提出書類 （システム添付）		なし	
落札候補者が 提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○入札金額内訳書（本概要書添付の内訳書を使用してください。）	

消防職員被服購入（単価契約）仕様書

共 通 事 項

【総 則】

1 契約件名

消防職員被服購入（単価契約）

2 目 的

この仕様書は、海老名市消防本部（以後「消防本部」とする。）において購入する消防職員用の被服について、必要な事項を定めることを目的とする。

3 概 要

消防職員用被服は、消防職員が着用するものであり、消防活動に適するものであること。

4 条 件

この被服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書の全てを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

5 品名・規格・数量

別紙内訳書及び仕様のとおり

6 履行期限

契約締結日から 令和8年3月31日まで

7 納品方法

- （1） 単品での発注にも応じること。
- （2） 品物は、発注後速やかに納入すること。

8 納品場所

海老名市大谷816番地 海老名市消防本部

9 支 払

- （1） 受注者は、物品を納品し、発注者が行う検査検収に合格後、請求を行うものとする。
- （2） 発注者は、請求があった場合は速やかに支払うものとする。
- （3） 請求金額に1円未満の端数が生じたときは、円未満の端数を切り捨てるものとする。

10 サイズ

受注者は、各個人を採寸し、個人仕立てのものとする。個人仕立ての出来ないものは、採寸結果を元に極力体型に合うものを納品すること。なお、個人仕立ての出来ないものは契約時に消防本部の承認を受けること。

11 見 本

受注者は、材料見本について承認を受けた後、この仕様書に基づき見本を製作し、消防本部の承認を受けること。なお、本製品は見本の承認後とすること。

12 環境配慮事項

次の物品は、マテリアルリサイクルシステムに対応する製品であること。上衣、ズボン本体にリサイクル表示と納入業社名を縫いつけ、貸与期間終了時に納入業者に回収の義務があることを明確にすること。

消防本部より回収依頼があった場合は、速やかに回収がなされ、回収された被服は確実に再利用し、回収ごとにマテリアルリサイクルシステム回収依頼書の写しを提出すること。

- ① 制 服
- ② 救助服

13 その他

- (1) 予定数量はあくまでも予定であり、予定数量に達しない場合でも異議なく履行すること。
- (2) 検収後であっても、生地、付属品及び寸法等、縫製上の欠陥が認められたときは受注者の責任とし無償で修理又は交換すること。
- (3) 別紙内訳書及び仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、消防本部と協議の上決定すること。
- (4) 次のとおり所属、氏名等を表示することが出来る片布を縫いつけること。なお、これとは別に上記 12 の被服にはリサイクル表示をすること。

所 属	(空欄)
氏 名	(空欄)
血液型	(空欄)
納入業者	記入して納入
納入年度	〇〇年度 (記入して納入)

50 mm

70 mm

冬 制 服 仕 様

【使用材料】

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 使用生地 | 日本毛織物 #9000（ウール 100%）当市指定色（紺色） |
| 2 | 縫 糸 | 共色テトロン #50 |
| 3 | 針 目 | 地縫い、飾縫いとも 10mm 間 4 針以上とすること。 |
| 4 | ボタン糸 | 40/3 機械付け用、手付けツレテ糸 |
| 5 | ボタン付け | 手付けの場合は、2 本糸にて一つ穴に 2 回以上通し、根巻 3 回以上、この字掛けとする。 |
| 6 | 穴かがり | 鳩目かがりする。 |
| 7 | ボタン | 金色金属製消防章入り径 20 mm 6 個 2 つ掛けボタンとし、内ポケット 2 個、中つりとめ 1 個には黒色練りタライ型径 14mm のボタンを使用する。 |
| 8 | 裁 断 | 各部とも逆毛裁ち、斜め裁ち及びハギを認めない。ただし裏中央 1 箇所は、ハギを認る。 |
| 9 | 仕上げ | 各部とも糸屑を取り去り、アイロンを入念にしコテずれ等は出さないこと。尚、洗濯、雨露等により著しく収縮、変形のない方法を講ずること。 |

【縫 製】

- | | | |
|------|----------|--|
| 1 | 上 衣 | |
| | 型 式 | 開襟剣襟両前背型 総裏付 |
| (1) | 衿芯及び衿刺 | 衿芯を入れ、腰刺し 10 本、山刺し 12 本以上とする。 |
| (2) | 衿付け | 縫い倒し、まつり縫い付けとする。 |
| (3) | 腰及び胸ポケット | 腰ポケットは、雨蓋付とし口幅 150mm、深さ 190mm のものを左右に各 1 個付ける。両端を本縫いミシン門止めとする。 |
| (4) | 内ポケット | 蓋付とし、口幅 140mm、深さ 190mm のものを左右に各 1 個付ける。両端を本縫いミシン門止めとする。 |
| (5) | 肩 台 | 綿パットを使用する。 |
| (6) | 裾付け | ミシン縫いきせかけとする。 |
| (7) | 肩縫い | 表時ミシン割り縫い、裏地ミシン縫いとする。 |
| (8) | 袖 | 袖口 140mm から 150mm、袖口より 100 mm の位置に袖章を付ける。 |
| (9) | 袖 章 | 黒色しま織り線幅 30 mm のもの一条を付け階級に応じて金線、銀線及び消防章を付ける。 |
| (10) | 階級章台座 | 右胸部中央に横約 40 mm、縦約 25 mm の B 面マジックテープを縫い付け、当消防本部指定のプリスト T K 色階級章を |

- 貼り付けられる仕様とする。
- (11) エンブレム用台座 左腕にエンブレム取付け用の台座を取り付ける。
- (12) 片 布 着左胸ポケット裏側に縦 70 mm、横 50 mmの当市指定の片布を縫いつける。尚、エコマテリアルの表示はこの下部に縫いつけること。

2 ズボン

- (1) 脇ポケット 左右 2 個とし、上端より 8 0 mmの位置に、口幅 150 mm、口幅下部から深さ 150mm のポケットを付ける。口の上下は門止めとする。
- (2) 尻縫い 割り縫いとする。
- (3) バンド[※]通し 7 本とし、上端から 1 2 mm下がった位置に幅 8 mm、使用部分の長さ 4 5 mmのものを付ける。
- (4) 小 股 5 0 mm門止めとする。
- (5) 股 下 2 本縫い、割り縫いとする。
- (6) 腰 裏 5 0 mm以上芯入りとする。
- (7) 前立て ファスナーYKK3 号をかくし付けにする。
- (8) タック 2 本外倒しとする。
- (9) 裾 口 シングルとし、折り返し分 50 mmとする。
- (10) 膝当て 膝当てを付けること。
- (11) 靴擦れ 共生地を使用し、幅 19 mm、長さ 150 mmとする。
- (12) 尻ポケット 右側 1 個、雨蓋付きとし口幅 130 から 140mm、深さ 1 6 0 mmとする。
- (13) 片 布 左脇ポケット裏側に縦 70 mm、横 50 mmの当市指定の片布を縫いつける。尚、エコマテリアルの表示はこの下部に縫いつけること。

【ネクタイ】

- 1 材 料 日本毛織(株) ウールポプリン 紺色
- 2 縫 製 芯入りとし、形状は通常のものと同様とする。

【ベルト】

- 1 本 体 表面牛革製
- 2 大きさ 幅 30mm、長さは各体形に応じたものとする。
- 3 色 黒色
- 4 バックル 金属製金具に黒色風防及び金色消防官徽章を取付けたローラー式とする。

【冬制帽】

1 使用材料

- (1) 使用生地 日本毛織物 #9000 (ウール 100%) 当市指定色 (紺色)
- (2) 縫 糸 共色テترون #50
- (3) 顎 紐 黒色のクルミ型とし両端には、金色の消防官徽章 (17mm ねじ式) を付ける。
- (4) 前 章 本体の共生地で台座を包み、モール製の銀色消防官徽章を中心にし、左右に金色の葉を付けたものを縫い付ける。
- (5) スベリ 黒色皮製とする。
- (6) 底 表及び縁は黒艶付皮仕上げとし、裏は共色皮シボ付とする。
- (7) 周 章 30 mmの黒縞を巻き、階級により舵腹組金線及び黒線を使用する。
- (8) 前 立 鋼線 2 本入りのものを使用し、枠及び天井パイプは、ポリエチレン製とする。

2 縫製

(1) 一般的事項

- ① 各部の縫合いは、優良で縫い代が適当であること。
- ② 縫い目の飛び、縫いはずれがないこと。
- ③ 糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりのないこと。

(2) その他

- ① 天井は汚損よけのビニールシート (指定サイズ) を縫い付け、名札入れポケットを接着する。
- ② マチ縫いは前面 2 枚、後面 2 枚を縫い合わせ、両端に飾りミシンをかける。前面にマチ芯を入れ、裏地を縫い付ける。
- ③ 通風穴は、マチの両側に指定色の鳩目穴各 2 個を付ける。
- ④ 特に形状全体の優美さに留意すること。

【補 則】

1 梱 包

各個人ごとにビニール袋に収納すること。

女性消防職員用 制帽仕様書

1. 材 料

表 地	冬	日本毛織(栴)	9 0 0 0	C/#	指定色E紺
	夏	トスコ(栴)	3 6 2 0	C/#	指定色ブルー

裏 地	ポリエステル	1 0 0 %
-----	--------	---------

芯 地	接着芯 面	1 0 0 %
-----	-------	---------

2. 形 状

ダイナー型

3. 表 部

芯地を木型に合わせ原型を作り、接着芯を貼り、この上に表地をのせ仕上げる。
また、グログランテープを巻き付け、帽子徽章を付ける。

4. 裏 部

原型（裏の部分）に裏地を張り付ける。
テトロンすべりを付け、金ぐしを2個使用する。

5. 縫 製

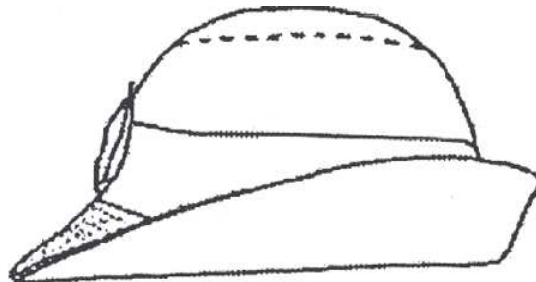
各部の縫合は、優良で縫い代が適当であること。
ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにする。
特に形状全体の優美さに留意する。

6. 証明書

落札者は、原反出荷済証明書を提出しなければならない。

7. サイズ調査

納入決定業者は、個人別にサイズ調査をする事とする。



女性消防職員用制服（上衣、ズボン）仕様書

総則

1 目的

この仕様書は、海老名市消防本部が購入する女性消防職員用制服について必要な事項を定めることを目的とする。

2 条件

この冬制服は、十分に品質管理を行った材料及び附属品を用いた、仕上がりが優美な製品であること。

3 出荷引受書の提出

表生地については入札および見積もり合わせに参加するものは、紡績メーカーの出荷引受書と生地見本を当本部の指示に従い提出すること。

4 見本の製作

当本部が必要とするときは、材料見本について承認を受けた後、この仕様書により見本を製作し、当本部の承認を受けること。

5 品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行うとともに、製作工程上の品質管理の適正を図ること。

仕様

1 材料

（１）生地一般

ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。

イ 織り上がりは、均整で、織りキズ、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

（２）表生地

冬用 日本毛織(株) 9000 C/＃指定色 E紺 (上衣、ズボン)

夏用 トスコ(株) 3620 C/＃指定色 ブルー (ズボン)

2 形状、寸法

（１）上衣はダブル、剣衿、６ッボタン、２ッ掛け、袖口プレート、背抜き仕立てとする。

（２）ズボンは、裾シングル又はフリータイプ、前ファスナー、脇ゴム付きとする。

3 縫製

（１）一般

ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。

イ 縫い代は、各部分に適した十分なものとする。

ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。

エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。

地縫い運針数 12針／3cm間

飾りステッチ 12針／3cm間

オ 飾りステッチ幅は、約0.6cmと端ミシンとする。

カ 飾りステッチは、表ミシンとする。

キ ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。

ク 各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。

ケ アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。

コ 接着しんを使用する部分は、すべて高圧加熱式しん張りプレス機を用いて全面接着をする。

サ 布目は、パターン指定どおりにする。

(2) 上衣

ア 襟

衿芯を入れ、衿腰線に1条ミシンをかける衿廻りにステッチをかけ、衿吊を衿腰中央に縫いつける。

イ 前身頃

各々ダーツを縫い身頃に接着芯を貼る。釦6個とりつけ2.5cmのボタンホール鳩目穴2個をあける。

ウ 身返し(ラペル)

身返しを返り衿とし、下前に片布を縫いつける。下前ラペルに2cmの眠り穴をかがり、ステッチをかける。

エ ポケット

胸ポケットは箱形とし、下前身につける。腰ポケットは左右腰に斜目の片玉、フラップ付ポケット、口長さ14cm、巾5cmとし、廻りにステッチをかける。内ポケットは、長さ13cmのすべり込み式とし、見返し縫目につける。

オ 後身頃

肩ダーツを縫い肩倒し、背縫いパネルライン各々縫い合わせる

カ 肩縫い

表縫い割り、裏地、片倒しとする。パディングを入れる。

キ 脇縫い

表縫い割り、裏地肩倒しをする。

ク 袖

2枚袖とし、山袖、袖口より9cm上部に3cm巾の黒色ジャバラ縫いつけ、階級線の平行に縫いつける。

ケ 裏

背抜き仕立てとする。

コ 引張り

ダブル打ち合せ下前身に釦1個取りつけ、袖下からの引張りに眠り穴のボタンホールをかがる。

サ 階級章止め

階級章止めは着用時左胸部に、共布を縫い付ける。

シ 氏名札及びサイズ札

サイズ札は襟腰下部中央に付ける。氏名札片布には、納入年度および納入業者名を記入すること。

(3) ズボン

ア ダーツ

後身頃左右に2本ずつダーツを縫う

イ タック

タックは外向きに倒す。

前身頃左右に2本のツータックとする。

ウ 脇ポケット

ベルト下 3 cmより口巾 1 3 cm袋巾 1 4 cmのふらしポケットとし、ポケット口に接着芯を貼る。

エ 前立て

前立ては表裏縫着する。前立の裏にファスナー 1 条縫いし、ファスナーあき止りにミシン口をする。

オ 小股

小股は、二重縫いして割り、上部に閉止をする。

カ シック

天狗下部袋地を延長し、小股にシックを取り付ける。

キ 腰帯

腰は 3. 5 cm の腰帯付とし両脇にゴムを入れる。

ク ベルトループ

有効幅巾 4. 5 cmとし、両方の脇縫い中心に仕上がりの長さをつける。前中心に前かん 1 組とりつける。

ケ 裏

裏付き仕立てとする。

コ 脇縫い及び内股尻縫い

膝当ては下部をふらし、脇は身頃と共にロック掛けをする。脇、内股共に割縫いとする。尻縫いは、縫い代を 3 cm程度取り、環縫い又は二重縫いして割る。裁ち目は、オーバーロック掛けする。

サ 裾口

シングル式とし、折り込み巾 3 cm以上とする。

シ 氏名札及びサイズ札

氏名札とサイズ札はズボン裏側に付ける。氏名札片布には、納入年度および納入業者名を記入すること。

4 品質表示

繊維製品品質表示に規程に定める方法等により氏名札の下部に印刷して表示する

5 その他

検収後であっても、生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥が認められたときは、受注者の責任とし、無償で修理又は交換すること。

疑問点が生じたときは、必ず担当者と綿密に打合せするとともに、仕様書記載以外の縫製にあっても、誠意をもってあたること。

レンジャーヘルメット仕様書

1 適合法令

労働安全衛生法（昭和 47 年 6 月 8 日、法律第 57 号）第 42 条の規定に基づく保護帽の規格（昭和 50 年 9 月 8 日労務省告示 66 号、以下「告示」という。）に適合するものであること。

2 仕様

（1）製品仕様

北川工業(株)製 品番 FM4-E T-L 3
（飛来・落下物用及び墜落時保護用とする。）

（2）性能

告示に示された性能を有するものであること。

なお、試験方法については、日本産業規格（以下「J I S」という。）T 8131「産業用安全帽」の規定を準用すること。

（3）質量

完成質量は、550 グラム以下であること。

（4）構造

保安帽は、帽体、装着体、衝撃吸収ライナー及びあごひもで構成され、各構成部品は次のとおりであること。

ア 本体

- （ア） ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂製（F R P 製）であること。
- （イ） 色調は消防隊を銀パール色とし救急隊を白色とする。
- （ウ） 消防活動に際し、頭部を動かしてもずれ、ぐらつき、脱落等がないこと。
- （エ） 帽体 及び付属品は堅牢に固定し、脱落、腐蝕等、著しく消防活動を阻害するものでないこと。
- （オ） 着用者の頭周に合わせて、調節が可能であること。
- （カ） 着用者の通気性が良好であること。

イ 各部の構造

（ア） 帽体

- ・表面がなめらかで、かつ堅牢であること。
- ・外面塗装は、白色仕上げウレタン焼付け塗装とし、容易に剥離しないものであること。

（イ） 前章

- ・帽体前面中央部にき章を貼り付け、接着は強固であること。

（ウ） 帽体外周緩衝

- ・帽体のつば部分を含めて、外周全部に幅 20 mm×厚さ 1 mm以上の黒色ゴムを外周の内側と外側に折りまげてはりめぐらすこと。

（エ） 掛け金具

- ・ 帽体後部に座金を付し、取り付けること。

(オ) ハンモック

- ・ 上方向からの衝撃を有効に吸収できるものとし、補助用ハンモック頭頂部において、環紐により深さを調節できるものであること。

(カ) 環紐

- ・ 補助用ハンモック上端を結束して、頭頂部と帽体内頂面との隙間を調節できるものであること。

(キ) 衝撃パッド

- ・ 帽体内側の前頂部、側頭部に装着し、外部からの衝撃を有効に吸収するものであること。

(ク) ヘッドバンド

- ・ 帽体内側との連結部の高さに帯状に装着し、頭周により調節できるものであること。また、幅約 50 mmの汗吸水性ナイロン不織布を取り付ける。

(ケ) 連結リベット

- ・ 帽体と着装体を固定するものであること。

(コ) あごひも

- ・ 着装体に固定し、使用中に帽体を確実に固定できるものとする。
- ・ あごひもの両端は、一枚のポリエチレンの板に縫い付けること。
- ・ 着用者の右側で締付けができるものであること。
- ・ 着用者の左側にサイドリリース式の機構を取付けること。なお、ポリエチレン製又は同等の強度を有する合成樹脂製又は耐食性を有する金属製のものであること。

(サ) あご当て

- ・ ポリエチレン成形品でツメ有りとし、白色とすること。

(シ) 表示

- ・ 帽体の左右に赤反射文字にて「海老名消防」と名入れをすること。
- ・ 各階級に応じて赤反射の階級線を入れること。

防火帽

仕様書

第1 総則

1 主旨

この仕様書は、海老名市（以下「当市」という。）が買入れする防火帽（視野拡大型）（以下「防火帽」という。）について、必要な事項を定める。

2 条件

消防活動上の安全性を確保するために必要な防護性能と強度を有するとともに、十分に品質管理を行った材料を用い、仕上がりが優良な製品であること。

3 構成

防火帽は帽体（装着体を含む。以下同じ。）及びしころで構成するものであること。

4 適合法令等

- (1) 国際標準化機構（以下「ISO」という。）11999-5のタイプ1の性能を満たすものであること。
- (2) 労働安全衛生法（昭和47年法律第57号。以下「労安法」という。）第42条の規定に基づく保護帽の規格（昭和50年9月労働省告示第66号。以下「保護帽の規格」という。）に適合するものであること。
- (3) 消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン改定版（令和4年3月。以下「ガイドライン」という。）に適合する製品であること。

5 見本品の提出

材料見本について、当市の確認を受けた後、この仕様書に適合する見本品を提出し、当市の確認を受けること。

6 工業所有権等に関する事項

工業所有権に関する法令に抵触しないこと。

なお、問題等が発生した場合は、受注者側の責任で解決すること。

7 品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行い、品質管理の適正を図ること。

なお、検査内容について当市の確認を受けること。

8 疑義

仕様書の内容について疑義が生じた場合は、当市と協議の上決定すること。

第2 仕様

1 製品仕様

小林防火服(株)製 品番 FH-01Ⅱ

2 材料、性能等

- (1) 防火帽の材質等については別表第1のとおりであること。

- (2) 質量

防火帽の質量は、次のとおりとする。

ア 帽体 1, 150グラム以下

イ 完成品（しころを含む。） 1, 400グラム以下

- (3) しころ

ア 積層生地

積層生地は、外衣生地及び內衣生地で構成し、規格等については別表第2のとおりであること。

イ 外衣生地

素材は、PBO及びメタ系アラミド及びパラ系アラミドの混紡とし、規格等について

は、別表第3のとおりであること。

ウ 內衣生地

透湿防水層及び裏地の2枚の生地で構成し、規格等については、別表第4のとおりである。

(4) 補助材料

規格等は、別表第5のとおりであること。

3 外観、寸法等

- (1) 押しホック等の取付けで、外衣の表から裏地まで金属を打ち抜いた部分は、金属が直接身体に触れないように、外衣と同等の生地を用いた当て布が縫い付けてあること。
- (2) 本仕様書における「約」の表記は、原則として±5パーセントの範囲内とする。
- (3) 本仕様書における「±」の表記は、これに続く数値以内の誤差を許容するものであることを表す。

4 構造

概要

防火帽は、物体の飛来又は落下による危険及び墜落による危険から装着者の頭部を保護する構造並びに性能を有し、頭部の動きによるぐらつきが少なく、装着中において不快感が少ないことのほか、次のとおりとする。

(1) 形状等

ア 帽体

(ア) 本体

表面は滑らかで、堅ろうであるものとし、次のとおりであること。

a 消防隊員用

外面（表面）の仕上げは、焼付塗装とし、容易に剥離しないものであること。また、配色については、当市と協議の上決定すること。

b 救助隊員用

外面（表面）の仕上げは、焼付塗装とし、容易に剥離しないものであること。また、配色については、当市と協議の上決定すること。

c き章

シール式の樹脂フィルムとし、バイザーカバーの下端の上方2ミリメートル（寸法許容差：±2ミリメートル）の位置となるよう帽体前面中央に貼付してあること。

d 本部名標識

(a) 消防隊員用（指揮隊員含む）、救助隊員用

帽体の両側面に、「海老名消防」と表示してあること。なお、入れ方は別途協議する。

(b) 文字の寸法、向き等は、次のとおりであること。

f 掛け金具

帽体の後部中央に半月環状の掛け金具が取り付けられていること。

イ 着装体

(ア) 内装

通気性及びクッション性に優れた素材であり、頭が接触する部分に、吸水性及び耐久性に優れた素材が取り付けられていること。

(イ) ヘッドバンド

頭回りに応じて約520ミリメートルから約650ミリメートルまでの範囲で、5ミリメートル（寸法許容差：±2ミリメートル）ごとに調節できるものであり、かぶり深さが調節できること。

なお、内装とヘッドバンドとの接続部分は凹凸を保護する構造とすること。

(ウ) しころ取付板

(a) しころ取付用として、帽体に取り付けてあること。

(b) しころ取付板には、押しホック（オス）が8個取り付けてあること。

ウ 顎ひも

(ア) 顎ひも（顎締め用）は、片方を押しホックにより着脱できるものであり、使用中に防火帽の脱落又はぐらつきがないように確実に締められるものであること。

(イ) 顎ひも調節金具のうち、内側の金具には、顎ひもと同じ素材を用いたリリースタブを取り付けてあること。

なお、リリースタブは、幅20ミリメートル、長さ55ミリメートル（いずれも寸法許容差：±2ミリメートル）とし、先端にはリリースタブを示す赤色の印がついていること。

(ウ) 顎ひものY字接合部分には、顎ひも調節金具のずれを抑制する補助環金具が取り付けられていること。

エ 着装体固定リベット等

着装した状態で、着装体固定リベット等が着装者の頭部と直接接触しないこと。

オ 顔面保護板

(ア) 前面からの注水に対し顔面を保護できる構造であり、視界の妨げとなるゆがみ等がないこと。

(イ) 顔面保護板を帽体内に収納できる構造とし、円滑に引き出せる機構を有するものであること。ただし、収納時に円滑に引き出せない機構であっても、顔面保護板を一部引き出した状態で保持できる場合は、この限りでない。

(ウ) 顔面保護板の下側縁には、引出しを容易にする突起等を有すること。

(エ) 収納した状態で、帽体の底の下端から顔面保護板の中央部の下がり部分までは10ミリメートル以下とし、両端は視野の障害とならないこと。

カ しころ

(ア) 配色については、当市と協議の上決定すること。

(イ) 帽体に取り付けることができること。

(ウ) しころは、3枚裁ちであり、裏側に見返しを付けてあること。

(エ) 周囲は、外衣生地共布で縁取りがしてあること。

(オ) しころの前合せを使用しない状態で、視野の妨げにならないように三つ折りにして固定するための押しホックを取り付けてあること。

(カ) 前合せ部分の裏面にはフックテープ及び表面にはループテープの面ファスナ（約50ミリメートル×約70ミリメートル）を縫い付けてあること。

(キ) 帽体取付け用押しホックの両端は、強力型又はロック型であること。

(ク) 縫製は、縫い目のとび及び外れがなく、縫い曲がりが目立たない優良なものであること。

(ケ) 縫い合わせ部等の裁ち目は、オーバーロック掛けが施してあること。

(コ) 縫い目数は、12針／30ミリメートルとする。

キ 表示

帽体内部の適当な箇所に次の事項を表示すること。

- (ア) 製造年月
- (イ) 製造番号
- (ウ) 製造業者名

ク 階級表示

帽体後部つば部分に階級を示したシールを添付する。

(2) 取得検定規格及び合格番号

厚生労働省規格

ア 飛来落下物用 合格番号 TH4622号

イ 墜落時保護用 合格番号 TH4623号

別表第 1

防火帽の材質等一覧

1 材質等

項 目		材 質 等
帽体	本体	ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック製
	バイザー	無色透明ポリカーボネート樹脂 縦（バイザーカバーの下端からの有効長） 6 0 mm以上 横（周長） 2 9 0 mm以上 厚さ 1 . 7 mm 以上
	バイザーカバー	ガラス繊維入りナイロン樹脂
	掛け金具	ニッケルメッキを施した真鍮製
衝撃吸収ライナ		難燃性を施した発泡材
着 装 体	内装クッション	ポリエステル繊維
	ガイドシート ヘッドバンド バンドクリップ	ナイロン成形品
	シールドサイド パーツ一式	シールドベース ナイロン成形品 シールドノッチパーツ POM成形品 シールドバネ POM成形品
着装体固定リベット		防食性を有する金属製
顎ひも		アラミドの混紡糸平織り袋とじとする。 幅 2 0 mm（寸法許容差：± 2 mm） 顎締め部全長 3 3 0 mm（寸法許容差：± 1 5 mm）
顎ひも調節金具		ステンレス鋼又は、これと同等の強度及び防食性を有する金属製とし、形状は、見本品のとおりとすること。
顔面保護板		無色透明のポリカーボネート板（外側をハードコート、裏面を防曇処理したもの） 縦（帽体のバイザーの下端からの有効長） 1 5 0 mm 以上 横（周長） 2 9 0 mm 以上 厚さ 1 . 5 mm 以上

2 規格等

項 目		規 格 等	試験方法等
保護範囲		タイプ a	EN 443
周辺視野		1 水平に 105 度以上の視野角度 2 参照平面から上方 7 度以上の視野角度 3 基礎平面から下方 45 度以上の視野角度	EN 443
		1 有効視野が自然視野の 70 % 以上 2 オーバーラップ視野が自然オーバーラップ視野の 80 % 以上	EN 136
熱伝達性 (放射熱暴露)		1 人頭模型の表面の温度上昇 $\leq 24^{\circ}\text{C}$ 2 帽体の素材の溶融、滴下のいずれもなし 3 機能を損なうような膨張、変形、亀裂、穴あきのいずれもなし	ISO 11999-5 手順 B JIS T 8020
耐熱性		1 人頭模型に接触していない部分が試験後、人頭模型に接触しないこと。 2 剥離、溶融、滴下、発火のいずれもなし 3 可動部分が機能すること。 4 しころ（所属別部隊記号及び階級表示線を含む）の収縮率 $\leq 5\%$	JIS T 8023 180°C 5 分間 注
耐炎性	防火帽 (しころを除く)	1 帽体素材、顔面保護板の残炎時間及び残じん時間 ≤ 2 秒 2 帽体表面の塗料の残炎時間及び残じん時間 ≤ 5 秒 3 帽体及び顔面保護板に分離、滴下のいずれもなし	JIS T 8131
衝撃吸収性		人頭模型に伝達される荷重 $\leq 15\text{ kN}$	EN 13087-2
耐貫通性		ストライカと人頭模型に接触なし	ISO 16073
耐側圧性		1 防火帽の横方向又は縦方向の最大変形率 $\leq 40\text{ mm}$ 2 残留変形 $\leq 15\text{ mm}$	JIS T 8131
電気的特性		絶縁破壊の痕跡なし 漏洩電流 $\leq 1.2\text{ mA}$	EN 13087

注 防火帽に、しころを取り付け、顔面保護板を完全に引き出した後、保持させ、しころを合わせた完全に装着した状態で試験を行うこととする。

別表第 2

積層生地規格等一覧

項目	規格等	試験方法等 ^{注1}
耐炎性 (表面着火) 洗濯後	積層生地に対して、表面及び裏面から接炎し、着火、熔融、滴下、穴あきのいずれもしないこと。 残炎時間 ≤ 2 秒 残じん時間 ≤ 2 秒	JIS T 8022 A 法 洗濯方法 JIS L 1930 6N 5 回 タンブル乾燥
熱伝達性 (火炎暴露) 洗濯後	$HTI_{24} \geq 1.3$ 秒 $HTI_{24} - HTI_{12} \geq 4$ 秒	JIS T 8021 洗濯方法 JIS L 1930 6N 5 回 タンブル乾燥
熱伝達性 (放射熱暴露) 洗濯後	$RHTI_{24} \geq 1.8$ 秒 $RHTI_{24} - RHTI_{12} \geq 4$ 秒 平均熱透過率 $\leq 5.0\%$	JIS T 8020 B 法 熱流束密度 40kW/m^2 洗濯方法 JIS L 1930 6N 5 回 タンブル乾燥
快適性能 (全熱損失、潜熱損失)	全熱損失 $\geq 300\text{W/m}^2$ かつ潜熱損失 $\geq 200\text{W/m}^2$ (防火服外層に機能上必要な補強材、熱反射材、再帰反射材等を使用している場合はその部位の試験を除く。)	米国材料試験協会規格 (ASTM) F 1868 PartC
洗濯寸法変化率	収縮率 $\leq 5\%$	ISO 5077 洗濯方法 (積層体で実施) JIS L 1930 6N 5 回 タンブル乾燥
伝導性 (圧縮耐熱性)	$t_t \geq 13.5$ 秒	ISO 12127-1 $180 \pm 5 / -0^\circ\text{C}$ 膝: 55KPa の接触圧力 肩: 14KPa の接触圧力

注1 表中の試験方法と異なる試験を、当市が同等の試験方法と確認した場合には、試験方法の変更を認めるものとする。

別表第 3

外衣生地規格等一覧

項 目			規 格 等			試験方法等
組 織			斜文織			JIS L 1096 A 法
密度	縦		8 0 本以上／2 5 . 4mm 以上			JIS L 1096 A 法
	横		4 8 本以上／2 5 . 4mm 以上			
質 量			2 5 0 g／m ² 以下			JIS L 1096 A 法
放射熱暴露後の引張強さ	縦		1 , 2 0 0 N 以上			JIS T 8020 A 法 熱流束密度 10kW/m ² の処理後 JIS L 1096 A 法
	横		1 , 2 0 0 N 以上			
引張強さ	縦		1 , 9 6 0 N 以上			JIS L 1096 A 法
	横		1 , 6 0 0 N 以上			
引裂強さ	縦		1 0 0 N 以上			JIS L 1096 A-1 法
	横		1 0 0 N 以上			
色 相 ^{注1}			ゴールドとし、次を標準とする。 色相 (H) 1.6Y 明度 (V) 5.2 彩度 (C) 4.0	オレンジとし、次を標準とする。 色相 (H) 1.5YR 明度 (V) 5.6 彩度 (C) 8.6	黒とし、明度 (N) 2.1 以下とする。	JIS Z 8721 (メタ系アラミドは原液着色とする。)
色 差 ^{注1}			(ΔE* _{ab}) 4 . 0 以下			JIS Z 8730
素 材			PBO＋メタ系アラミド＋パラ系アラミド			JIS L 1030
厚 さ			0 . 4 3mm 以上			JIS L 1096 A 法
はっ水度 ^{注1}			初期：5 級／1 0 回洗濯後 ^{注2} ：2 級以上			JIS L 1092
はっ油度 ^{注1}			初期：5 級以上／1 0 回洗濯後 ^{注2} ：3 級以上			AATCC TM 118
燃 焼 性 ^{注1}	残炎時間	縦	0 秒			JIS L 1091 A-1 法
		横	0 秒			
	残じん時間	縦	0 秒			
		横	0 秒			
	炭化面積	縦	0 cm ²			
		横	0 cm ²			
ピリング ^{注1}			4 級以上			JIS L 1076 A 法 (10 時間)
帯電電荷量	縦	7 μ C／m ² 以下			JIS L 1094	
	横	7 μ C／m ² 以下				
耐熱性・炭化耐性			溶融、滴下、分離、発火、炭化のいずれも不可 収縮率≦5 %			JIS T 8023 180℃ 5 分間
シーム強度 (縫い目)			2 2 5 N 以上			JIS L 1093 A-3 法
染 色 堅ろう度 ^{注1 注3}	区 分		変退色	汚 染		
	洗 濯		4 級以上	4 級以上		JIS L 0844 A-2 号
	汗	酸性	4 級以上	4 級以上		JIS L 0848
		アルカリ性	4 級以上	4 級以上		
	耐 光		3 級以上			JIS L 0842 第3 露光法
	区 分		乾燥	湿潤		
摩 擦		4 級以上	4 級以上		JIS L 0849 II 形	

注1 生地の裏面で評価する。

2 JIS L 0217 103 法により洗濯及び吊干し乾燥を繰り返し、アイロン掛けは一切行わない。

3 染色堅牢度については、各色共通の規格等とする。

別表第 4

内 衣 生 地 規 格 等 一 覧

1 透湿防水層

項 目		規 格 等	試験方法等
素 材		アラミド100%の生地を基布とし、片面に吸水性のない透湿防水加工を施したものとする。	JIS L 1030
引張強さ	縦	196N/50mm 以上	JIS L 1096 A 法
	横	196N/50mm 以上	
引裂強さ	縦	19.6N 以上	JIS L 1096 A-1 法
	横	19.6N 以上	
耐水圧	初期	294kPa 以上	JIS L 1092 B 法
	20回洗濯後 注		
液体の浸透性		次の(1)から(5)までがそれぞれ80%以上流れ、かつ、浸透しないこと。 (1) 20℃、40%水酸化ナトリウム (2) 20℃、36%塩酸 (3) 20℃、30%硫酸 (4) パラキシレン (5) 人工血液(界面活性剤代用可)	JIS T 8033

注 JIS L 0217 103 法により、洗濯及び吊干し乾燥を繰り返し、アイロン掛けは行わない。

2 裏地

項 目		規 格 等	試験方法等
素 材		アラミドを主体とした難燃生地とする。	JIS L 1030
引張強さ	縦	490N/50mm 以上	JIS L 1096 A 法
	横	490N/50mm 以上	
引裂強さ	縦	49.0N 以上	JIS L 1096 A-1 法
	横	49.0N 以上	
ピリング ^注		3 級以上	JIS L 1076 A 法 (10 時間)

注 特殊な構造を有する生地で、ピリングが評価できないものについては、当市の確認を受けること。

3 透湿防水層及び裏地共通

項 目			規 格 等	試験方法等
燃焼性	残炎 時間	縦	1 秒以下	JIS L 1091 A-1 法
		横	1 秒以下	
	残じん 時間	縦	1 秒以下	
		横	1 秒以下	
	炭化面積		15cm ² 以下 (長径60mm 以下)	

別表第5

補助材料等規格一覧

項 目			規 格		
縫製糸	面ファスナの縫製	素 材	アラミド100%	JIS L 1030	色は生成りとする。
		引張強さ	40N以上	JIS L 1095 引張速度 300mm/min つかみ間隔 500mm 試験機 定速伸長形	
	上記以外の縫製	素 材	アラミド100%	JIS L 1030	色は外衣生地と同系色とする。
		引張強さ	14.7N以上	JIS L 1095 引張速度 300mm/min つかみ間隔 500mm 試験機 定速伸長形	
	耐熱性		溶融、滴下、分離、発火のいずれも不可 加熱後、機能すること。		JIS T 8023 180℃ 5分間
押しホック	種 類	金属製#7050（ニッケルメッキを施したもの）			
	耐熱性	溶融、滴下、分離、発火のいずれも不可 加熱後、機能すること。		JIS T 8023 180℃ 5分間	
防火帽	周 章		1 赤色反射テープ、幅20mm 2 反射性能は、JIS Z 9117「保安用反射シート及びテープ」の 7試験方法による観測角12'及び入射角5°の条件で10 cd/lx・m ² 以上のもの。		
	き章		当市指定のもの		
	掛け金具		黄銅製（ニッケルメッキ）又はこれと同等以上の防食性を有する 金属製（半月型）		

注 所属別部隊記号及び階級表示線は、外衣生地には縫い付けた状態で、表面のみに接炎すること。

上下式防火衣仕様

(ISO 欧州基準適合品)

【防火衣上衣】

- 1 概 要
この防火衣は、外衣と內衣で構成される多層構造とする。
- 2 条 件
(1) 消防活動に適した機能と強度を有し、作業性と安全性を充分に確保するため、着用者が腕を上方に引き上げた時でも、防火衣本体は上方へ引き上げられず、スムーズに運動できること。
(2) 上記事項を満足させるため、当本部承認の型紙を使用すること。
- 3 材 料
(1) 外衣の主材料は、メタ系芳香族ポリアミド40%、パラ系芳香族ポリアミド45～50%、PBO 繊維約10～15%を混用した繊維で、規格等は別表1のとおりとする。
(2) 內衣の規格等は別表2のとおりとする。
(3) 補助材料については別表3のとおりとする。
- 4 サイズ及び形状
(1) サイズ別の寸法は次の表のとおりとする。

(単位：cm：標準)

	総 丈	胸 囲	桁 丈	袖口幅	適 応 身 長
S	72	116	77	16	160～165
M	74	120	80	16	165～170
L	78	124	83	16	170～175
LL	82	130	86	16	175～180
3L	86	136	89	16	180以上

※ 許容差 +2、-1

- (2) 形状はセパレート式とする。
- 5 縫 製
(1) 縫製は、防火衣としての強度を確保できるものとする。
(2) 糸調子等は、良好であるものとする。
(3) 外 衣
① 外衣本体の仕立ては、左右身頃各1枚、後身頃1枚、左右肩部各1枚、安全帯ベルト通し付、後ヨーク部反射布指定マークプリント縫い付けとする。
また、本体部分の一部を兼用する大きさのマチを肩部前側、前身頃及び、後身頃の袖ぐり部にかかえるように縫着すること。
② 袖は、上袖下袖からなる2枚仕立てとし、上袖先からダーツ1本をとり、湾曲した筒状に形成し、運動の障害とならないこと。
③ 袖付けは、腕の活動性を向上させるため、左右袖の先端部が肩部より次第に上方に向くよう傾斜させて取り付けるVライン袖付とする。
④ 肩部は表地共布を2枚重ねとし、その中間に厚さ約4mmのケブラーフェルトを挟み、立体的に縫製する。
⑤ 身頃の前合わせには金属ファスナー(オレンジ)を用い、さらに左前身頃に水よけを縫着し、面ファスナーにて止める。
⑥ 衿は共布2枚重ねに芯地1枚を入れる。また、顔、首保護のため、充分な高さとなり重なり部をもたせ、面ファスナーを衿の重なり部に縫着し、開閉可能にすること。
⑦ 左右身頃に雨蓋付きのアウトポケットをつける。
⑧ 反射布は袖、胸、裾回り、背中に入れる。
⑨ 左右身頃にウエストを絞るためのダーツを各1ヶ所とる。
⑩ 衿中央部内側に充分な強度をもった衿吊りを取り付ける。
⑪ 左右胸に携帯無線機用ポケットを取り付ける。また、内部にはホループを取り付ける。
⑫ 左右腕部にワッペン受け用面ファスナーを取り付ける。(サイズ縦7.5cm×横15cm)
⑬ 背中上部に2段で背文字を入れる。海老名消防 KANAGAWA なお、入れ方は別途協議する。
- (4) 内 衣
① 內衣の仕立ては身頃本体、袖、マチ、肩部はそれぞれ外衣と同一とする。但し、裾丈の上がり寸法は外衣より5cm短くする。
② 外衣との縫い付けは袖口及び裾口を除く身頃部分とする。また、後身頃下部にめくれ防止用の面ファスナーを縫着する。
③ 袖先には袖口ジャージを縫着する。
- (5) その他
①安全帯通しを5ヶ所取り付ける。
②安全帯固定補助ベルトを2個併せて納品すること。
③左右腕部にワッペンを取り付ける。ワッペンの種類は別途指示する。

別表1

防 火 上 衣 補 助 材 料

区 分	品 名	規 格	用 途
補 助 材 料	面ファスナー	黒色 幅 50mm	衿止め、內衣取付用 (裾部)
	面ファスナー	黒色 幅 38mm	ポケット (雨ぶた止め用)
	オープン ファスナー	長さ40cm 金属製	前合わせ
	耐熱ゴム引布	基布にアルミニウム粉末を混入した合成ゴムを片面 加工	衿 芯
	フェルト	パラ系芳香族ポリアミド100% 280g/㎡ 標準	肩当てパット
	ジャージ	芳香族ポリアミド 濃紺色	内袖用
	反 射 布	オラフォル社FTP-1575-S 約76mm幅	左右胸部 裾口一周 両 袖
	D 環	金属製	脇締めバンド
	座付ハトメ	#500	ポケット 水抜き用
	表 示 布	ポリエステル	表示布
	縫 製 糸	芳香族ポリアミド 30番 芳香族ポリアミド 40番 生成色、紺又は黒色、オレンジ色	ほつれ止めを除く

【防火ズボン】

1 外衣

- (1) 消防活動時の作業性、機能性を向上させるため、また運動に対する抵抗を少なくするために、左右腰部及び、左右上脚部からなる本体部に下脚部を連結した仕立てとし、臀部には脚曲げ余裕分をとり、連結部の前部には膝曲げ余裕部を確保できる構造とし、股、膝部等の運動に対し、抵抗が少なく、ズボンのずり下がりを防ぐこと。さらに腰部、上脚部は左右前身頃、後身頃各1枚、下脚部は左右前身頃及び、後身頃各1枚の仕立てとする。
- (2) 胴廻りにベルト通しを5ヶ所つける。
- (3) 左右身頃に雨ぶた付アウトポケットをつける。
- (4) 前立て部は金属ファスナーと押しホックにて止める。
- (5) 左右前身頃に膝当てを縫着し内側にパットを入れる。
- (6) 左右裾口は長さ33cmの金属ファスナーをつけた開閉式とする。
- (7) 反射布は左右裾口に縫着する。
- (8) ウェストベルトは、前方向締め込み式とする。

2 インナー

- (1) 本体部は外衣と同一による仕立てとする。
- (2) 縫い合わせ部は裏面から目止めテープを用いて防水加工を施すこと。
- (3) 外衣との縫い合わせは上胴、前立て、裾口、裾ファスナー部の全ヶ所とする。

3 材 料

- (1) 外衣の主材料は、メタ系芳香族ポリアミド約40%、パラ系芳香族ポリアミド約45～50%、PBO繊維約10～15%を混用した繊維で、規格等は別表1のとおりとし、補助材料については別表3のとおりとする。
- (2) 內衣の規格は別表2のとおりとする。なお、透湿防水加工は、上衣防水層を同じものを使用すること。

別表2

外衣生地規格

※ 撥水、防汚、撥油加工を施すこと。

試験項目	規 格	試 験 方 法
色 相	ネイビーまたはオレンジ系	当局の承認による
繊維混用率 (%)	メタ系芳香族ポリアミド約40% パラ系芳香族ポリアミド約45～50% PBO繊維約10～15%	J I S-L-1 0 3 0
原糸番手	3 0 / 2 S × 3 0 / 2 S	J I S-L-1 0 9 6
組 織	綾 織	J I S-L-1 0 9 6
目付重量g/m ²	2 6 0 g/m ² 以下	J I S-L-1 0 9 6
密 度 縦 本/2.54cm 横	7 3 以上 5 1 以上	J I S-L-1 0 9 6
引張強さ 縦 N/5cm 横	2 4 0 0 以上 2 0 0 0 以上	J I S-L-1 0 9 6 ラベルドストリップ法 間隔2 0 cm、2 0 cm/min
引裂強さ 縦 N 横	2 4 0 以上 2 0 0 以上	J I S-L-1 0 9 6 A-1 シングルタンク法
平面摩擦	1, 0 0 0 回以上	J I S-L-1 0 9 6 ユニバーサル形法 A-1 CC 1,000-CW
燃 焼 性	残 炎 1 秒以下 余じん 1 秒以下 炭化距離 2 cm 以下	J I S-L-1 0 9 1 A-4 垂直法

用 途

1 防火ズボン

身頃、ベルト通し（安全帯用）、ポケット

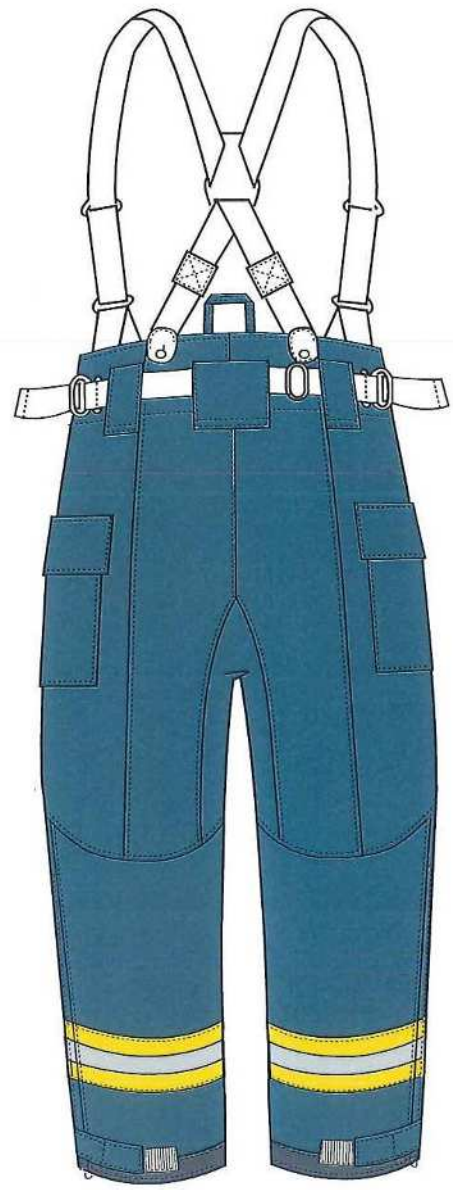
別表3
內衣生地の規格

試験項目	試験方法	規格	
		防水層	断熱層
重量	JIS-L-1096	145±10g/m ²	205±10g/m ²
引張強度 N	JIS-L-1096 ペルトスリップ法 試料幅 5cm 引張速度 20cm/min つかみ間隔 20cm 試験機 定速伸長形	たて 450以上 よこ 450以上	たて 450以上 よこ 450以上
引裂強度 N	JIS-L-1096 シングルタンク法	たて 25以上 よこ 25以上	たて 35以上 よこ 35以上
燃焼性	JIS-L-1091 A-1法	残炎 1秒以下 残じん 1秒以下 炭化面積 15cm ² 以下	残炎 1秒以下 残じん 1秒以下 炭化面積 15cm ² 以下
耐水圧	JIS-L-1092	初期 294KPA 以上 10回洗濯後 294KPA 以上	
透湿性	JIS-L-1096 B-2法	500g/m ² ・h 以上	

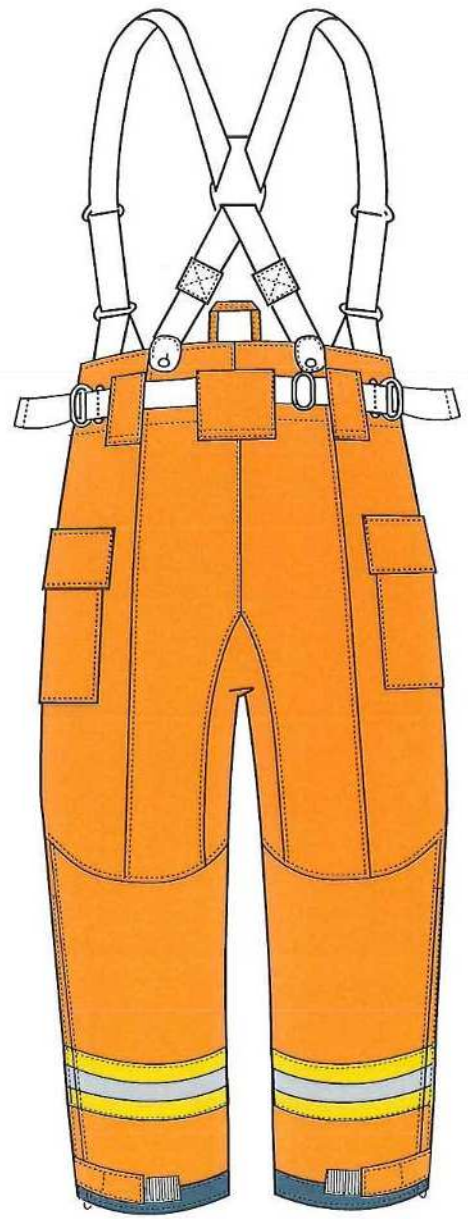
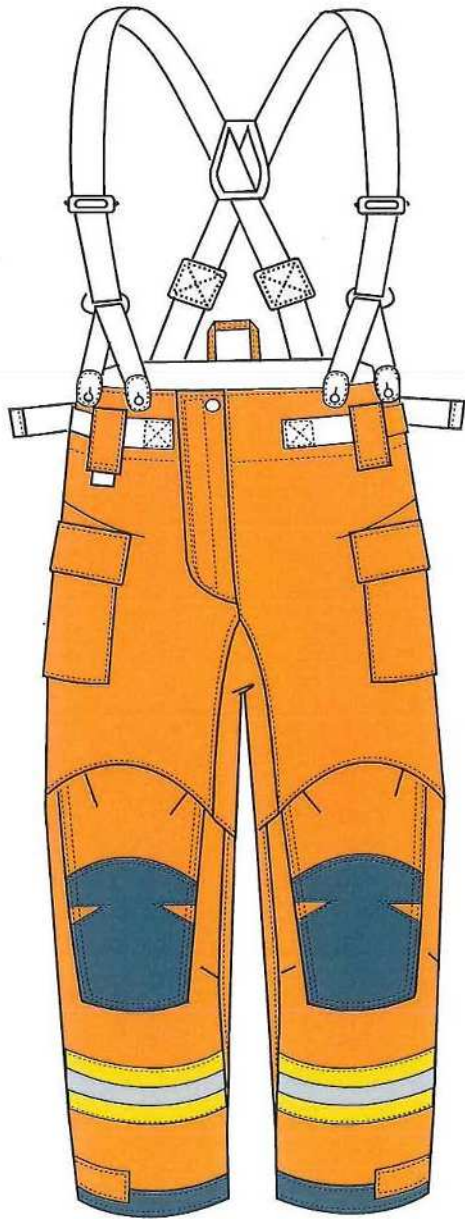
別表4
補助材料

部 品 名	規 格	使用位置・用途
反射布	オラフォル社FTP-1575-S 約76mm幅	別図による
面ファスナー	38mm A面 黒 38mm B面 黒 50mm A面 黒 50mm B面 黒	上 衣：前合わせ（上前） ズボン：前立て（下前） 上 衣：前合わせ（下前） ズボン：前立て（上前） 上 衣：襟ストラップ ポケット袋布 內衣、後身頃裾部分（内側） ズボン：サイドポケット袋布 上 衣：襟 ポケット雨蓋 後身頃裾部分（内側） ズボン：サイドポケット雨蓋
座付きハトメ	金属製 #7050 （ニッケルメッキを施したもの）	ポケット底部分
片 布	縦70mm 横80mm（不滅インクで印刷） ポリエステルパン	上 衣：左ポケット裏側（內衣） ズボン：左ポケット裏側（內衣）
サイズネーム	ポリエステル100% 上衣用幅19mm ズボン用幅30mm	上 衣：襟吊り中央 ズボン：右前身頃安全帯通し
表生地縫製糸	#30 黒、オレンジ	縫製全般
反射布縫製糸	#30 黒、オレンジ	反射布縫付け
內衣縫製糸	メタアラミド #40 黒	內衣全般
ロック糸	T-スパン #50 黒	外衣
目止め用テープ	シームテープ	內衣縫製箇所
金属ファスナー	No.5 長さ22cm 引き手付き 黒 No.5 長さ33cm 引き手付き 黒	前立てファスナー 裾ファスナー
ウエストベルト	厚み2mm 幅38mm 黒	ウエストベルト
押しホック	金属製#7050 （ニッケルメッキを施したもの）	前立て 補助ベルト









活動服仕様書

1 生地一般

- (1) 原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用する。
- (2) 織り上がりは均正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものとする。
- (3) 表生地及び配色用生地は同規格及び同混率の生地を使用して縫製する。

2 材料及び規格

- (1) 表生地
帝国繊維（株）TS82CM DNV（当市指定色）
- (2) 配色用生地
帝国繊維（株）TS82CM オレンジ（当市指定色）
配色用生地の使用箇所は次のとおりとする。
上衣：胸ポケット玉縁、胸ポケット袋地、背ヨーク及び上襟の裏側周囲
- (3) 袋地
ポリエステル、レーヨン混紡スレーキとする。
- (4) しん地及びマーベルト
しん地及びマーベルトは当市の承認を得たものとする。
- (5) ファスナー
上衣：前合わせ、左右胸ポケット及び両袖口に使用する。
ズボン：脇ポケット、後ポケット及び天狗前立てに使用する。
- (6) 裁断
逆毛裁ち、斜め裁ち及びハギは認めない。
- (7) ボタン
タライ型径 1.4cm を肩章及び鼻天狗止めに使用する。
- (8) ボタン付け
手付けの場合は、2 本糸にて一つ穴に 2 回以上通し、根巻き 5 回以上、「こ」の字かけとする。
- (9) 穴かがり
鳩目穴または眠り穴とする。
- (10) 仕上げ
各部とも糸くずを取り去り、プレスを入念にし、コテずれ等は出さない。
なお、洗濯、雨露等により著しく収縮及び変形しない方法を講ずる。

3 形状

- (1) 上衣
スタンドカラー、前身頃、後身頃、後ヨーク、脇身頃、袖山付き 3 枚袖、前立てから襟先までのファスナー開き、両肩肩章付き、袖口ファスナー開き、

左右両玉縁ファスナー付き胸ポケット及びバックプリント付きとする。

(2) ズボン

ワンタック、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、内股部ハギ入り、内股シック補強（4か所止め）、ベルトループ5本付及び右後両玉縁ファスナーポケットとする。

4 縫製

(1) 上衣

ア 襟

(ア) 襟芯を入れ、襟幅 8.5cm、後中心 9.5cm とする。

(イ) 上襟の裏側周囲に配色用生地を使用し、1.5cm の幅で縁取る。

(ウ) 襟中央に襟つりを縫い付けし、襟中央にサイズマークを挟み縫いする。

イ 袖及びカフス

袖は、袖山付き 3 枚袖とし、両玉縁ファスナー止めとする。袖口開きの開口部には表生地の水かき付きとする。

ウ 袖付け

(ア) 付け袖として下袖の縫い部分から脇縫い部分にかけ、1 枚布で曲線を合わせ前後の身頃に縫い合わせる。

(イ) 脇身頃の脇下部に船型の穴を開け、内側へ折り返して縫い止める。周囲に飾りミシンを掛け、裁ち目は、オーバーロックかがりとし、口の両端は、ミシン止めをする。

(ウ) 着用左側の袖付け根 7 cm 下がりに当市指定ワッペン取り付け用面ファスナー B 面（表生地同色系）を縫い付ける。

エ 脇縫い

インターロックミシン縫いとして片倒しとする。

オ 胸ポケット

(ア) 左右前身頃に口幅 14cm、深さ 17cm のファスナー付きインポケットとする。

(イ) ポケット口は、両玉縁とし、外締めファスナー付とする。

(ウ) 口布は、内側へ折り返して、端は押さえ縫いし、裁ち目はオーバーロックかがりとする。

(エ) 左右ポケット内にペン差し用ループを縫い付ける。

カ 前合わせ

前合わせの開閉は、剣先までのオープンファスナーとし、ファスナー下部の両側に切れ込みを入れ、ファスナー操作が容易に出来るようにする。

キ 肩章

肩章は周囲を地縫い返し、0.5cm 飾りミシンをかけ、先端に眠り穴のボタン穴をかがり、袖付けに挟み縫いする。先は台襟の位置まで届かせ、肩章の袖付け部分はクロスに飾りステッチをかける。

ク 後身頃及び背ヨーク

背の両側はノーフォークとする。背ヨークは1枚物V字型で襟中心部から28cm幅（サイズ表：ALLの場合）で縫い付ける。なお、背ヨークは上衣ALLサイズを基準として、上衣の大きさに応じて幅を調整する。

ケ 標識

- (ア) 着左胸ファスナー上部から上端9cm上の位置に、表生地同色系の面ファスナーB面(横8cm×縦3.5cm)を縫い付ける。共布へ当市指定の色及び書体にて上段に下線表記で『海老名市消防本部』、下段に『EBINA FIRE DEPT.』と刺繍したものを面ファスナーA面に縫い付け貼り付ける。その下段に表生地同色系の面ファスナーB面(横5cm×縦2.5cm)を縫い付ける。共布へ当市指定の色及び書体にて刺繍した個人ネームを面ファスナーA面に縫い付け貼り付ける。
- (イ) 背部に反射文字で当市指定文字及び色にてプリントを入れる。文字内容は別図のとおりとするが、詳細については契約者と別途協議する。

コ 階級章止め

着右胸ファスナー上部から上端5.5cm上の位置に、表生地同色系の面ファスナーB面(横4cm×縦2.5cm)を縫い付け、階級章止めとする。

サ 裾

三つ折りの平裾とし、端縫いをする。

シ 片布

横5cm、縦7cmの当市指定片布を左胸ポケット裏に縫い付ける。

(2) ズボン

ア 前身頃

左上前ファスナーあき、左右のウェストにワンタックを入れ、脇側（外向き）に片倒しをする。

イ 後身頃

後ダーツを左右各1本取り、片倒しとする。尻と裾はオーバーロック掛けとする。

ウ 前立て及び天狗

左上前立てに芯を貼り、3.5cm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナー開き止まり位置は小丸にし、冑止めをする。見返し奥の裁ち目は芯とともにオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出して布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。前立て上部及び天狗に座金前かんを付け、天狗先端に鳩目かがりを付ける。

エ 脇ポケット

左右外側に上端から23cm下がった位置に、口幅17cm、深さ18cmの両玉縁ファスナー付きインポケットとし、口の両端は冑止めをする。

オ 後

後中心の尻縫いは二重縫い、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒し、ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の尻部下辺りを斜めに切り替え、下身頃側へ飾りステッチをかける。

カ 後ポケット

右後に上端から 10cm 下がった位置に口幅 15cm、深さ 18cm の両玉縁ファスナー付きポケットを付ける。口の両端は閉止めをする。

キ 腰

(ア) 腰裏はマーベルトを使用し、両端はそれぞれ天狗と前立ての前カンの下まで入れる。

(イ) 幅 4 cm の腰帯付きとして腰帯と身頃は地縫い片倒し。マーベルトと共に飾りミシンをかけ前立てから天狗ファスナー付けまで入れる。

ク ベルトループ

前面及び脇に幅 6 cm、長さ 9 cm のものをそれぞれ左右各 1 本、後ろ中心にホームベース型で幅 6 cm、長さ 9 cm のものを 1 本、計 5 本付ける。ループ幅の両端はコバステッチをかける。ただし、ベルトループの長さはウェストが細身等でベルトの着装に支障がある場合はこの限りではない。

ケ シック補強

内股クロス十字部にシック布を補強のため 4 か所に縫い止める。

コ 裾

折込み 3 cm 以上の三つ巻きミシン掛けとし、裾から 5 cm 上がった位置に、長さ 20cm、幅 2.5cm 帯をズボン前面中央部に縫い付け、ズボン側に 2.5cm 四方の面ファスナー B 面をそれぞれ縫い付ける。その両端に長さ 6 cm、幅 2.5cm の面ファスナー A 面をそれぞれ縫い付ける。ズボン後面 2 cm 上がった位置に、長さ 10cm、幅 2.5cm 面ファスナー B 面を中心から 2 分割し、それぞれ縫い付ける。

サ 脇縫い

後へ片倒しとして飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ 内股補強

縫い割し、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、活動における屈伸時の緩和を図る。

ス 片布及びサイズ札

サイズ札はベルトループに挟み、それ以外は当市指定場所に縫い付ける。

5 補則

(1) 梱包

プレス後、適切な方法で折り、1 枚ずつビニール袋に収納して納品する。

(2) 被服のサイズ

以下のサイズ表に基づいて作成するが、試着して体に合わない際は、採寸

を実施して、体に合うサイズに調整して作成する。

(3) 表記

仕様書内の縫製上の数値はすべて「約」表記とする。

(4) 基準活動服

本仕様書の内容はサイズ上衣 A L L 及びズボン 4 号を基準活動服として表記する。他のサイズの活動服は基準活動服をもとに各配置等を調整して作成する。

【サイズ表】

(上 衣)

	胸	袖丈	着丈
A S	100	76	76
A M	106	79	78
A L	111	82	78
A L L	116	85	80
A 3 L	121	89	84
A 4 L	126	89	84

	胸	袖丈	着丈
B L	118	84	78
B L L	124	84	78
B 3 L	127	84	78
B 4 L	132	84	80

(ズ ボ ン)

	ウエスト	ヒップ	股下
000 号	64	97	70
00 号	67	100	70
0 号	70	102	70
1 号	73	102	75
2 号	76	102	75
3 号	79	104	75

	ウエスト	ヒップ	股下
4 号	82	106	75
5 号	85	108	75
6 号	88	110	75
7 号	91	113	75
8 号	95	117	75
9 号	100	119	75
10 号	105	123	75

【活動服イメージ】



【別図】



救 助 服 仕 様

【材料及び規格】

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 使用生地 | 帝人テクノプロダクツ(株)帝人(株)コーネックス
5264 (当市指定オレンジ色) |
| 2 | 縫 糸 | 帝人テクノプロダクツ(株)帝人(株)コーネックス
50 (当市指定オレンジ色) |
| 3 | 針 目 | 地縫い、飾り縫い共 10 mm間 4 針以上 |
| 4 | ボタン | 同色練りタライ型径 15 mm |
| 5 | ボタン付け | 手付けの場合は、2 本糸にて一つ穴に 2 回以上通し、根巻き 5 回以上、この字かけとする。 |
| 6 | 穴かがり | ハト目穴またはねむり穴 |
| 7 | 裁 断 | 逆毛裁ち、斜め裁ち及びハギは認めない。 |
| 8 | 仕上げ | 各部とも糸くずを取り去り、プレスを入念にしコテずれ等は出さないこと。尚、洗濯・雨露等により著しく収縮、変形しない方法を講ずること。 |

【縫 製】

- | | | |
|-----|----------|---|
| 1 | 上 衣 | 丸衿、長袖、肩章、当て布付、両胸ポケット |
| (1) | 飾り | 5 mm ミシン飾り |
| (2) | 衿 | 衿先は丸タイプとし、衿芯を入れ仕上げる。衿先約 80 mm、後中心約 90 mm、山刺し 10 本以上とする。右衿裏側に幅約 25 mm のマジックテープ B 面を縫い付ける。幅約 40 mm 長さ 100 mm のループを縫い付け、ループ先端に B 面マジックテープと同じ大きさの A 面マジックテープを縫い付けて貼り付ける。衿を立てたときに、左衿裏側の幅約 25 mm、長さ 40 mm のマジックテープに止められる状態にする。台衿は、当て布を裏表共にはさみ縫いをし、裏側には腰刺し 5 本入れる。 |
| (3) | 胸ポケット | 胸部左右に共生地で裏地に縫い付けた内ポケット（使用部分幅 130 mm）とし、両玉縁の革ツマミ（当市指定）付ファスナー止めのものとする。 |
| (4) | 袖 | 一枚袖とし、カフス（幅約 70 mm）に芯を入れ、袖口開部に水かきを付け、両玉縁ファスナー止めとする。 |
| (5) | 袖付け及び脇縫い | 袖と身頃の間に肩章をはさみ、地縫い片倒し飾り縫いとする。裁ち口はロック掛け |

とし、袖付け下部に焼く 70 mmの脇穴を開ける。

(6) 前身頃

前合わせ部分は両玉縁の革ツマミ（当市指定）付オープンファスナーとする。ファスナー下部 40 mm辺りのところから玉縁を斜めに切り込みファスナー下部を露出させる。見返しは幅約 60 mm以上とし、芯をすえて衿付けより裾までとする。

(7) 後身頃

背の両側はノーフォーク（袖下約 150 mmまで）とする。

(8) 当て布

前身頃、後身頃及びひじ部分に約 15 mm間隔でひし形の刺し縫いをする。

(9) 裾

織り込み約 20 mmの三つ巻きミシン掛けとする。

(10) 標識及び個人名

着左胸ポケット上部に、当市指定色にて『海老名市特別救助隊』（明朝体）と刺繍した共布を上段に縫い付け、下段にオレンジ色のマジックテープ B 面（縦約 25 mm、横約 40 mm）を縫い付ける。共布へ当市指定色にて刺繍した（明朝体）個人ネームをマジックテープ A 面に縫い付け貼り付ける。

(11) 階級章止め及び階級章

着右胸ポケット上部に、オレンジ色のマジックテープ B 面（縦約 25 mm、横約 40 mm）を縫い付け、階級章止めとする。階級章は、プリスト階級章（TK 色）を付ける。

(12) エンブレム

左袖上腕部に、オレンジ色のマジックテープ B 面の台座を縫い付け指定エンブレムを貼り付ける。

(13) プリント

背中上部に指定文字をプリントする。文字内容は別図のとおりとするが、詳細については落札業者と別途協議する。

(14) 片 布

着左胸ポケット裏側に縦 70 mm、横 50 mmの当市指定の片布を縫いつける。尚、エコマテリアルの表示はこの下部に縫いつけること。

2 ズボン

長ズボン、裾シングル、当て布付、両脇ポケット

(1) 脇ポケット

上端より約 230 mm下がった位置の左右外側に各 1 個表地縫い付けとする。ポケットの寸法は 180 mm、封きん部分は約 40 mmとし、ポケットの左右及び下に設ける。尚、ポケットの開閉は革ツマミ（当市指定）付ファスナーとする。

(2) 小 股

40 mmから 50 mmの門止めとし、棒シックは長さ 100 mm以上とする。

- (3) 尻縫い及び脇縫い
地縫い片倒し飾り縫いとし、裁ち目はオーバーロック掛けとする。
- (4) 前立て及び天狗
前立てファスナー、天狗持ち出しボタン止めとし、更にぶち抜きボタン止めとする。
- (5) バンド通し
共布（使用部分約 50 mmにて計 5 本とし、幅約 100 mmが 4 本、幅約 50 mmが 1 本とする。
- (6) 腰 裏
幅 60 mm以上のマーベルトまたは共布とし、上部より約 40 mmの位置に押さえミシンを掛ける。
- (7) 当て布
上部より膝下にかけて当て布を付け、約 15 mm間隔でひし形の刺繍縫いをする。
- (8) 裾
折込み 30 mm以上の三つ巻きミシン掛けとし、裾より約 50 mm上がった位置に、長さ約 220 mm、幅約 25 mmの帯をズボン前面中央部に縫い付け、その両端に長さ約 60 mm、幅約 25 mmのマジックテープ B 面をそれぞれ縫い付ける。ズボン後面約 20 mm上がった位置に、長さ約 100 mm、幅約 25 mmのマジックテープ A 面を中心から 2 分割しそれぞれ縫い付ける。
- (9) 片 布
着左胸ポケット裏側に縦 70 mm、横 50 mmの当市指定の片布を縫いつける。尚、エコマテリアルの表示はこの下部に縫いつけること。

【補 則】

- 1 各個人のサイズごとに上衣、ズボンを組み合わせた状態でビニール袋に収納すること。

【上着背文字】



夏救急服仕様

【上 衣】

1 型 式 台衿付シャツカラー、比翼、半袖、肩章反射材付

2 使用材料及び規格

- (1) 使用生地 帝人(株)T 1 9 9 2 指定色
- (2) 芯 永久接着芯
- (3) ボタン ポリエステル樹脂
- (4) 糸 ポリエステル＃50 同系色
- (5) 針 目 10 mm間 4 針以上
- (6) 反射材 住友スリーエム
- (7) 裁 断 逆毛裁、斜め裁は一切認めない。
- (8) 仕上げ 各部共糸くずを取り去り、アイロンを入念に掛け、コテずれ等は出さないこと。

3 縫 製

- (1) 衿
台衿（ボタン付）カッターシャツ仕立てとし、指定の芯を入れ、飾り縫いをする。
又は衿台内側には替衿取り付け用のボタン 5 個を取り付ける。
- (2) 前立て
前立ては比翼式ファスナーとし、面ファスナーを 4 ヶ所取り付ける。
- (3) 前身頃
アウトポケットを付け、ポケット下部（ウエスト）にタックを付ける。
- (4) 胸ポケット
雨蓋付アウトポケットを左右各 1 個付ける。中央に箱ヒダを取り、雨蓋はマジックテープ止めとする。
- (5) ヨーク
前身頃、後身頃共にはさみ縫いの上、飾り縫いをする。
- (6) マ チ
脇下に三日月型のマチ（メッシュ）を付ける。
- (7) 後身頃
三枚はぎとし、背丈中程まで背ヒダを利用し、左右に通気穴を付け裏にはメッシュを縫い付ける。又背丈中程から下は地縫いして押さえること。
- (8) 袖
一枚袖とする。

- (9) 袖 口
カフス付とし、ヒダは2本取り、外倒しとする。袖口開きは裁目を利用したくるみ縫いとする。
- (10) 裾
三つ折りミシン縫いとする。
- (11) 肩 章
裁目をかがり、端を袖付けの縫い目に縫込み、先端に穴を開け、ボタン止めとする。
- (12) 氏名用台座及び本部名表示
左胸雨蓋中央部から1cm上に、横約5cm、縦約2.5cmのB面マジックテープを縫い付け、その上部に氏名を刺繍したネームプレートを張り付ける。又その中央から1cm上部に共生地に「海老名市消防本部」と刺繍をした台布を縫い付ける。
- (13) エンブレム台座
左袖の袖付け部より約7cm下の位置に、B面マジックテープ（当本部指定サイズ）を縫い付ける。
- (14) 片 布
左胸ポケット裏側に指定のものを縫い付けること。
- (15) 階級章用台座及び胸章用台座
右胸雨蓋中央部から1cm上に、横約4cm、縦約2.5cmのB面マジックテープを縫い付ける。また その中央部から1cm上部に、横約8cm、縦約2.5cmのB面マジックテープを縫い付ける。
- (16) 肩章反射
折幅60mm、長さ100mmの指定の反射布で筒状に仕立て肩章反射とする。

【ズボン】

- 1 型 式 テーパーシルエット、裾シングル
- 2 使用材料及び規格
- (1) 使用生地 トスコ(株)T2772 指定色
- (2) 芯 永久接着芯 ウエスマン芯
- (3) ボタン ポリエステル樹脂
- (4) 糸 ポリエステル＃50 同系色
- (5) ファスナー YKK製
- (6) 膝 裏 タフタ
- (7) 腰 裏 マーベルト
- (8) 袋 地 スレーキ
- (9) 裁 断 逆毛裁、斜め裁は一切認めない。

- (10) 仕上げ 各部糸くずを取り去り、アイロンを入念に掛け、コテずれ等はないこと。

3 縫 製

- (1) 脇ポケット
フォワードセットポケットとし、上下にH門をする。
- (2) 尻ポケット
アウトポケットとし、箱ヒダ、下角は中丸、ポケット口の折り返しは三つ折り縫いをする。左のポケット口はボタン止めとする。
- (3) タック
左右各1本、外倒しとする。
- (4) ウエスマンベルト
芯を入れ、裏には指定のマーベルトを取り付ける。
- (5) 膝 裏
指定の膝裏を前身ベルト下から膝下まで取付ける。
- (6) 前立て
隠しファスナーとめとし、上端天狗持出しボタン止めとする。
- (7) 小 股
門止めをすること。
- (8) ベルト通し
使用部分 50 mm、剣型巾 50 mmを3本、箱型巾 25 mmを2本付ける。
- (9) 棒シック
- (10) 尻ダーツ
左右均等にとること。
- (11) 片 布
左ポケット袋地に指定のものを縫い付けること。

冬救急服仕様

【上 衣】

1 型 式 台衿付シャツカラー、比翼、長袖、肩章反射材付

2 使用材料及び規格

- (1) 使用生地 帝人(株)T 4 5 2 2 0 指定色
- (2) 芯 永久接着芯
- (3) ボタン ポリエステル樹脂
- (4) 糸 ポリエステル＃50 同系色
- (5) 針 目 10 mm間 4 針以上
- (6) 反射材 住友スリーエム
- (7) 裁 断 逆毛裁、斜め裁は一切認めない。
- (8) 仕上げ 各部共糸くずを取り去り、アイロンを入念に掛け、コテずれ等は出さないこと。

3 縫 製

- (1) 衿
台衿（ボタン付）カッターシャツ仕立てとし、指定の芯を入れ、飾り縫いをする。
又は衿台内側には替衿取り付け用のボタン 5 個を取り付ける。
- (2) 前立て
前立ては比翼式ファスナーとし、面ファスナーを 4 ヶ所取り付け。
- (3) 前身頃
アウトポケットを付け、ポケット下部（ウエスト）にタックを付ける。
- (4) 胸ポケット
雨蓋付アウトポケットを左右各 1 個付ける。中央に箱ヒダを取り、雨蓋はマジックテープ止めとする。左胸部の雨蓋にペン差し穴を開ける。
- (5) ヨーク
前身頃、後身頃共にはさみ縫いの上、飾り縫いをする。
- (6) マ チ
脇下に三日月型のマチを付ける。
- (7) 後身頃
一枚はぎとし、左右に外倒しの背ヒダを付ける。又、背ヒダについては背丈の中程から下は地縫いして押さえること。
- (8) 袖
一枚袖とする。

- (9) 袖 口
カフス付とし、ヒダは2本取り、外倒しとする。袖口開きは裁目を利用したくるみ縫いとする。
- (10) 裾
三つ折りミシン縫いとする。
- (11) 肩 章
裁目をかがり、端を袖付けの縫い目に縫込み、先端に穴を開け、ボタン止めとする。
- (12) 氏名用台座及び本部名表示
左胸雨蓋中央部から1cm上に、横約5cm、縦約2.5cmのB面マジックテープを縫い付け、その上部に共生地に氏名を刺繍したネームプレートを張り付ける。又その中央から1cm上部に「海老名市消防本部」と共生地に刺繍をした台布を縫い付ける。
- (13) エンブレム台座
左袖の袖付け部より約7cm下の位置に、B面マジックテープ（当本部指定サイズ）を縫い付ける。
- (14) 片 布
左胸ポケット裏側に指定のものを縫い付けること。
- (15) 階級章用台座及び胸章用台座
右胸雨蓋中央部から1cm上に、横約4cm、縦約2.5cmのB面マジックテープを縫い付ける。また その中央部から1cm上部に、横約8cm、縦約2.5cmのB面マジックテープを縫い付ける。
- (16) 肩章反射
折幅60mm、長さ100mmの指定の反射布で筒状に仕立て肩章反射とする。

【ズボン】

1 型 式 テーパーシルエット、裾シングル

2 使用材料及び規格

- (1) 使用生地 トスコ(株)T35350 指定色
- (2) 芯 永久接着芯 ウエスマン芯
- (3) ボタン ポリエステル樹脂
- (4) 糸 ポリエステル#50 同系色
- (5) ファスナー YKK製
- (6) 膝 裏 タフタ
- (7) 腰 裏 マーベルト
- (8) 袋 地 スレーキ
- (9) 裁 断 逆毛裁、斜め裁は一切認めない。

- (10) 仕上げ 各部糸くずを取り去り、アイロンを入念に掛け、コテずれ等はないこと。

3 縫 製

- (1) 脇ポケット
フォワードセットポケットとし、上下にH門をする。
- (2) 尻ポケット
アウトポケットとし、箱ヒダ、下角は中丸、ポケット口の折り返しは三つ折り縫いをする。左のポケット口はボタン止めとする。
- (3) タック
左右各1本、外倒しとする。
- (4) ウエスマンベルト
芯を入れ、裏には指定のマーベルトを取り付ける。
- (5) 膝 裏
指定の膝裏を前身ベルト下から膝下まで取付ける。
- (6) 前立て
隠しファスナーとめとし、上端天狗持出しボタン止めとする。
- (7) 小 股
門止めをすること。
- (8) ベルト通し
使用部分 50 mm、剣型巾 50 mmを3本、箱型巾 25 mmを2本付ける。
- (9) 棒シック
- (10) 尻ダーツ
左右均等にとること。
- (11) 片 布
左ポケット袋地に指定のものを縫い付けること。

夏制服 仕様

【夏服仕様】

1 材 料

(1) 生地一般

- ① 原糸は糸ムラ、番手ムラ及び撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。
- ② 織上がりは均正で、織キズ、糸節及び汚れ等の欠点のないものでなければならない。

(2) 表生地

別表のとおり

(3) 袋 地

ポリエステル100%または、ポリエステル・綿混紡とする。

(4) 芯地・マーベルト

芯地及びマーベルトは消防本部の承認を得たものとする。

(5) その他

- ① ボタンは尿素樹脂ボタンを上衣の前合わせ、胸ポケット雨蓋、剣ボロ、カフス、肩章及びズボンの尻ポケット、鼻天狗止めに使用する。
- ② ファスナー・座金前かんは、ズボンの天狗及び前立てに使用する。
- ③ 縫糸は、本縫い、飾り縫い、穴かがり縫いは、表生地と同系色でポリエステル100%の50番または603番とする。

2 形 状

(1) 上 衣

上衣は、肩章付きワイシャツ型とし、前立てボタンは5つ掛け、前身頃切り返し型、左右胸ポケット雨蓋付きとする。

(2) ズボン

ズボンは、長ズボン、腰帶付きツータック、裾シングル、両脇及び尻ポケット付き、腰まわり伸縮（拡張）式とする。

3 縫 製

(1) 一般事項

- ① 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。
- ② 縫い目の飛び、縫いずれがないこと。
- ③ 外観は、縫製が優良で、傷、汚れ、縫い曲がり等がないこと。
- ④ 表面に現れる針数は特に指定する場合を除き、次のとおりとする。

ア 本縫いミシン	12針以上／3cm間
イ 飾り縫いミシン	12針以上／3cm間
ウ オーバーロック縫いミシン	8針以上／3cm間

エ インターロック縫いミシン 8針以上／3cm間

オ 飾り縫い幅は、約0.5cmとし、特に指定する場合は端飾り縫いとする。

カ ボタン穴は、はと目又は眠り穴かがりとする。

キ アイロン仕上げはには、十分注意すること。

ク 接着芯を使用する部分は、すべて高压加熱式芯垂貼りプレス機を使用し、完全に接着すること。

ケ 布目は型紙の指定どおりとする。

(2) 上 衣

① 衿

ア 上衿には芯を入れ、剣先幅約75mm、後ろ中央幅約45mmし、周囲を飾り縫いする。

イ 台衿で上衿を挟み、端飾り縫いし、身頃に縫着する。

② 袖付け縫いは、身頃のくりを延ばさないよう注意し、インターロックミシン縫いし、一条の押さえ縫いをする。

③ 脇縫い及び袖縫い及び袖縫いは、通してインターロックミシン縫いとする。

④ 胸ポケット

ア 左右前身頃に拌みヒダつきポケットを各1個飾り縫いで縫着し、雨蓋（ボタン止め）付きとする。

イ ポケット口は、幅約20mmの三つ折り縫いとし、口両端はこの字かんを入れる。

ウ 拌みヒダは内ヒダとし、幅約20mmとする。また、ヒダの表側両端は飾り縫いとする。

エ 雨蓋には芯を入れ、ボタン穴をかがり周囲は飾り縫いする。中央幅は約70mm 左右幅は50mmとし、長さは約145mmとする。左雨蓋の前中心側より約15mmの所に、幅約30mmのペン差し込み口を付ける。

オ ポケットの深さは、前中心側で約140mm、脇縫い側で約150mmとし、口幅は約135mmとする。

⑤ 前合わせ

幅約35mmの表前立て付きとし、ボタン5個掛けとする。

⑥ 肩 章

ア 肩章幅は約50mmで芯入りとし、周囲を飾り縫いし先端にボタン穴をかがる。

イ 肩章付けは、袖付けに挟み、縫い付ける。

⑦ ヨーク

合わせヨークとし、背ヨーク中央で幅約100mmとする。また、背ヨークで後ろ身頃を挟み縫いし、表に飾り縫いする。

⑧ 肩縫い

前ヨークで前身頃を挟み、端飾り縫いとする。

⑨ プリーツ

背身頃中央に、幅約 30 mmアウトボックスプリーツを入れる。

⑩ 階級章及び階級章取付けマジックテープ

右胸雨蓋中央部から 10 mm上に、横約 40 mm、縦約 25 mmの B 面マジックテープを縫い付け、その上に当消防本部指定のプリスト TK 色階級章を貼り付ける。

⑪ 裾

裾は、約 3 mmから 5 mmの三つ巻き縫いとし、馬乗りとする。

⑫ ワッペン用台座

左腕上腕部に、当消防本部指定ワッペン取付け用のマジックテープを縫い付ける。

⑬ 片 布

着左胸ポケット裏側に縦 70 mm、横 50 mmの当市指定の片布を縫いつける。尚、エコマテリアルの表示はこの下部に縫いつけること。

(3) ズボン

① 脇ポケット

ア 斜めポケットを左右両脇に各 1 個付ける。

イ 口布は、最大 20 mm以上折り返し、約 5 mmの飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から最大で 50 mm以上とし、それぞれ袋地に縫付ける。

ウ 口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりをする。

エ 口の下端は門止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏ともに必ず 10 mm以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫付けは可能な限り最後まで縫うようにする。

② 尻ポケット

ア 片玉縁作りとし、左右に各 1 個付ける。

イ ポケット周囲は端ミシンを掛け、口の両端は門止めをする。

ウ 向当布は幅 40 mm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりをし、袋地に縫い付ける。

エ 左のみ中央上部にボタン穴をかかり、向当布にボタンを縫いつける。

オ ポケット袋は、地縫い返しし、飾りステッチをかける。

カ 上端は、表裏ともに必ず 10 mm以上腰帯にかかるようにする。

③ タック

外向きタックを左右 2 本取る。

④ 腰ダーツ

左右腰後部に各 2 本取り、片倒しする。

⑤ 天狗及び前立て

ア 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりする。

- イ 天狗の鼻は島で持ち出すか「ち」を付け、先端にボタン穴をかがる。
- ウ 前立ては芯を入れ表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりする。
- エ 前立て飾りは、35 mmとする。
- オ 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は腰帯幅中央にする。
- カ 小股の上部のファスナー止まりに、天狗裏側から前立てとともに門を入れる。

⑥ ファスナー付け

- ア 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- イ 前立て側は、前立て裏にファスナーを2条縫いで縫い付ける。

⑦ 脇縫い及び内股縫い

- ア 地縫い割とし、2条縫いまたは環縫いミシンとする。
- イ 裁ち目は、オーバーロックかがりをする。

⑧ 尻縫い

- ア 地縫い割りとし、二重縫いまたは環縫いミシンとする。
- イ 上部の縫いしろは20 mm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりをする。
- ウ 棒シックは、股ぐりにそってミシン縫いする。

⑨ 腰 裏

- ア マーベルト、スレーキを使用し、前立て側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。
- イ 後部（尻縫い目）は縫い割りとする。
- ウ 左右脇縫い目の箇所、後身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにする。
- エ 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所、表生地にとおして、門止めをする。
- オ 腰裏の下端は、尻縫いの箇所、まつり止めをする。

⑩ 腰 帯

- ア 腰は35 mmの腰帯付とし、脇縫いの箇所、後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。
- イ 腰帯内部に伸縮テープを入れ、前身側と後身側が互いに引き合い、左右各25 mm（ウエスト廻りとして50 mm以上）腰廻りの拡張が出来るようにする。

⑪ バンド通し

- ア 前身頃タック、脇縫い、尻縫い脇、後身ポケット上の8本付けとする。
- イ ループ作りは片側に四つ折り縫いとし、両端は端ミシン縫いし、幅約10 mm長さ45 mmとする。
- ウ 取り付け位置は、ズボン上端より約10 mm下がりとする。

⑫ 裾

- 裾は折り返し幅30 mm以上のすくい縫いとする。

⑬ 片 布

左脇ポケット裏側に縦 70 mm、横 50 mmの当市指定の片布を縫いつける。尚、エコマテリアルの表示はこの下部に縫いつけること。

【別 表】

夏服（上衣） 品名：エコシャンブレートロピカル

項 目		生 地 規 格	試 験 方 法
品 番		<EWAK-1>	
色 相		シャンブレブルー（指定色）	
混 用 率		毛 30% 標準 再生ポリエステル 70% 標準 *再生ポリエステルの生地全体の約 70%使用（グリーン購入法対応商品）	JIS L 1030（正量混用率）
糸 番 手		（経） 2/72 （緯） 167dtex	JIS L 1096
組 織		1/1 平織	
品 名		エコシャンブレートロピカル	
仕上げ重量		133 g /m ²	JIS L 1096
仕上げ密度 （10 cm間）		（経） 280 本 標準 （緯） 230 本 標準	JIS L 1096
寸法変化率		（経） ±1.0%以内 （緯） ±1.0%以内	JIS L 1096 C 法
染色堅牢度	耐光試験	4 級以上	JIS L 0842 照射 40 時間
	洗濯試験	4 級以上	JIS L 0844 A-1 法
	汗試験 酸	4 級以上	JIS L 0848 B 法
	アルカリ	4 級以上	
	摩擦試験 乾 湿	4 級以上 4 級以上	JIS L 0849 II 型
強 力		（経） 600N 以上 （緯） 550N 以上	JIS L 1096 A 法
ピリング		4 級以上	JIS L 1076 A 法

夏服（ズボン） EC03620BL 規格書

区 分		規 格	試験方法
混用率		ポリエステル（再生ポリエステル）85% 麻 15%	JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2
番 手	経	36 s（長繊維糸）167dtex/2	JIS L1096
	緯	36 s（長繊維糸）167dtex/2	
密 度	経	58 本以上	JIS L1096 (2.54 cm間)
	緯	48 本以上	
寸法変化率		経・緯±1.5%以内	JIS L 1096 D 法
染色堅牢度		耐 光	4 級以上 JIS L 0842
		洗 濯	4 級以上 JIS L 0844 A-2 号
		汗	4 級以上 JIS L 0848
		摩 擦	4 級以上 JIS L 0849 II 形
組 織		平織り	JIS L 1096
摩擦耐電電荷量		7(μC/m ²)以下	JIS L 1094
色 相		指 定 色	
その他		表生地の縦方向に導電性繊維糸を約 0.8 cm間隔に織り込むものとする。	

【夏制帽】

1 使用材料

(1) 生地一般

- ① 原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。
- ② 織上がりは均正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものであること。

(2) 表生地 夏服ズボンと同生地とする。

(3) 縫 糸 表生地と同系色でポリエステル 100%の 30 番及び 50 番とする。

(4) 顎 紐 指定色のクルミ型とし両端には、金色の消防官徽章を付ける。

(5) 前 章 本体の共生地で台座を包み、モール製の銀色消防官徽章を中心にし、左右に金色の葉を付けたものを縫い付ける。

(6) スベリ 黒色のポリウレタンとする。

(7) 底 指定色のレザー仕上げとする。

(8) 周 章 指定色の網蛇腹を使用する。上下を折り返しし、使用幅 40mm になるよう仕上げる。

(9) 前 立 鋼線 2 本入りのものを使用し、枠及び天井パイプは、ポリエチレン製とする。

2 縫 製

(1) 一般的事項

- ① 各部の縫合いは、優良で縫い代が適当であること。
- ② 縫い目の飛び、縫いはずれがないこと。糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりのないこと。

(2) その他

- ① 天井は汚損よけのビニールシート（指定サイズ）を縫い付け、名札入れポケットを接着する。
- ② マチ縫いは前面 2 枚、後面 2 枚を縫い合わせ、両端に飾りミシンをかける。前面にマチ芯を入れ、裏地を縫い付ける。
- ③ 通風穴は、マチの両側に指定色の鳩目穴各 2 個を付ける。
- ④ 特に形状全体の優美さに留意すること。

【補 則】

1 梱 包

プレス後、適切な方法で折り、各個人のサイズごとに上衣、ズボンを組み合わせた状態でビニール袋に収納すること。

夏半袖作業着上衣 仕様

1 材料

(1) 生地一般

ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。

イ 織り上がりは、均整で、織りキズ、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

(2) 表生地及び付属品

表生地は下記（２点）とし、付属品は別表２のとおりとする。

トスコ（株）ECO3620BL（導電性繊維）

帝国繊維（株）EGR16350（導電性繊維）

当市指定色（上衣本体部分：淡青色 上衣配色部分及びズボン：紺色）

混紡率 再生ポリエステル 85%

麻 15%

上衣配色部分：台襟内側・肩章裏及び縁取り・胸ポケット雨蓋裏及び縁取り・胸ポケット奥ヒダ・長袖はカフス裏・半袖は飾りカフス裏

2 形状

上衣はシャツ型半袖、台襟付シャツカラー、パネルフロント、後ヨーク、胸左右雨蓋付きアウトポケット、肩章付きとする。

3 縫製

(1) 一般

ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。

イ 縫い代は、各部分に適した十分なものとする。

ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。

エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。

地縫い運針数 12針以上／3cm間

飾りステッチ 12針以上／3cm間

オ 飾りステッチ幅は、0.5cm幅と端ミシンとする。

カ 飾りステッチは、表ミシンとする。

キ ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。

ク 各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。

ケ アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。

コ 接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式芯張りプレス機を用いて前面接着をする。

サ 布目は、パターン指定どおりにする。

(2) 上衣

ア 襟

（ア）上襟の剣の長さは7cmとし、幅は背中心で4.5cmとする。

（イ）台襟幅は、背中心で3.5cmとする。

（ウ）台襟にて上襟を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。

- (エ) 台襟下部は2条縫いとし、下部の1条は裏を落とす。
- (オ) 上襟の周囲（下部を除く）には、0.5cmの飾りステッチをかける。
- (カ) 表襟はゆとりを持たせ、折り返りの厚みを引かれぬようにする。
- (キ) 上襟には作り芯を使用する。
- (ク) 襟吊りは、幅概ね1cmの織りテープとし、台襟中央下部に挟み縫いする。

イ 肩縫い

ヨークで前身を挟み、端ミシンで縫う。

ウ 袖付け

- (ア) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。
- (イ) 縫い代は身頃側に片倒しとし、0.5cmの飾りステッチをかける。

エ 袖及びカフス

- (ア) 袖は1枚袖とし、袖縫いは身頃脇縫いと通し縫いする。
- (イ) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがり（巻状で飾り縫いも可）
- (ウ) 半袖の袖口は、飾りカフス付きとし、仕上がり幅は3.5cmとする。

オ 脇縫い

袖縫いと通し縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。

カ 胸ポケット

- (ア) 左右の胸の位置に、張り付けポケットを周囲端ミシンで縫着する。
- (イ) ポケット寸法は、口幅13cm・内側深さ14cm・外側深さ15cmを目安とし、下角は、隅切りにする。
- (ウ) 口布は2cm以上とし、裁ち目は三ツ折返しにして隠すか、オーバーロックミシンかがりとする。
- (エ) ポケット中央部に深さ1cmの拌みヒダを2本取り、端飾りステッチをかけ、ヒダは中央に向けて倒す。2本のヒダ端は、綺麗に合うようにする。
- (オ) 口の両端はかんぬき留め（ミシンかんぬきコ型または三角）とし、上部中央に面ファスナーのループ面（幅2.5cm・長さ4cm）を付ける。
- (カ) 雨蓋は芯を入れて地縫い返し（配色生地を表側にふかす）し、表の中央部にボタンを、裏には面ファスナーのフック面（幅2.5cm・長さ4cm）を付け、周囲に飾りミシンをかける。
- (キ) 雨蓋の寸法は、幅14cm・高さ中央6.5cm・両端4.5cmを目安とし、五角形の本壘型とする。
- (ク) 雨蓋の上端は身頃に縫い付け、折り返して、押さえミシンをかける。折り返し部分の端は、表に出ないようにする。
- (ケ) 左ポケット雨蓋の内側より1.5cmに、口幅3cmのペン挿し穴を施し、更に1.5cm中央側に、口幅2cmのネームタグ用クリップ挿し穴を施す。なお、雨蓋外側の裏にチーループを付ける。

キ 前立て

- (ア) パネルフロント仕立てとし、芯（共地芯も可）を入れ、両端に0.5cmの飾りステッチをかける。
- (イ) 上前にはボタン穴を6個開け（台襟下第1ボタン穴は3cm）、下前にはボタンを6個（予備ボタンの指示がある場合は7個）付ける。

(ウ) パネルの幅は、3.5 cm上がりとする。

ク ヨーク

(ア) 裏付きの2重仕立てとする。

(イ) ヨークの幅は、背中央で7.5 cm上がりとする。

(ウ) ヨークで後身頃を挟み、0.5 cmの飾りステッチで縫う。

ケ 肩章

(ア) 周囲は地縫い返し（配色生地を表側にふかす）し、飾りミシンをかけ、先端にボタン穴をかがり、肩に付けた相方のボタンにて留められるようにする。

(イ) 肩章は、袖付けに挟み込んで縫い付ける。

(ウ) 芯を貼り、仕上がり寸法は根元で5 cm・先端で4 cmとし、剣先を槍にすること。

(エ) 肩章根元より約5 cmを身頃に地縫いし、根元と身頃に地縫いをした縫い目の間に十字の飾り縫いをする。

コ 背ヒダ

(ア) 後身頃中央にボックス型を施す。

(イ) 仕上がり幅は3.5 cmとする。

サ 裾

(ア) 幅0.3から0.5 cmの三巻縫いとする。

(イ) 左右脇には、くりを入れた馬乗り仕立てとする。

シ 階級章台座

右胸ポケット雨蓋から1 cm上の位置に、面ファスナーのループ面（幅2 cm・長さ4 cm）を付ける。

ス 個人ネーム台座及び個人ネーム

左胸ポケット雨蓋から1 cm上の位置に、面ファスナーのループ面（幅2 cm・長さ5 cm）を付ける。共布に指定色にて刺繍した個人ネームを面ファスナーのフック面に縫い付け貼り付ける。

セ エンブレム台座

左袖の袖付け部より約7 cm下の位置に、面ファスナーのループ面（当市指定サイズ）を付ける。

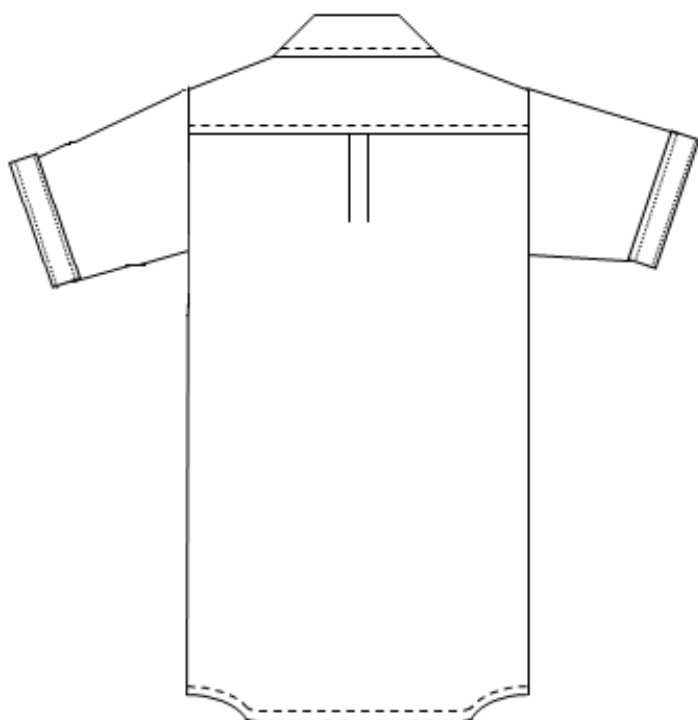
ソ 氏名片布及びサイズ札

氏名片布は右前裾部、サイズ札は台襟中央下部に付ける。

別表 1 (出来上がり寸法表)

上衣：単位 cm

首廻	肩幅	胸囲	胴囲	着丈	半袖丈
36	46	98	90	78	25
37	47	102	94	78	25
38	48	106	98	80	25
39	49	110	102	80	25
40	50	114	106	82	25
41	51	118	110	82	25
42	52	120	114	82	25
43	53	122	118	82	25
44	53	124	120	82	26
45	54	127	123	85	26
46	54	130	126	85	26
47	55	135	131	85	26
48	56	140	136	85	26



簡易作業着(Tシャツ)仕様

1 半袖

(1) 形状

半袖Tシャツとする

(2) 材質及び規格

150g/m²メッシュ(4.4oz)

ポリエステル100%

色は白、オレンジ、紺の3種類とする

(3) 下記の有すること

吸汗速乾性

紫外線防止指数 20

紫外線遮蔽度90%

(4) 標識

左胸部に当本部が指定する文字をシャツ白色は紫文字、オレンジ色は白文字、紺色は白文字でプリントすること。

(5) その他

氏名片布を本体裾に縫い付けること。

2 長袖

(1) 形状

長袖Tシャツとする

(2) 材質及び規格

156g/m²メッシュ(4.6oz)

ポリエステル100%

色は紺色とする

(3) 下記の有すること

吸汗速乾性

消臭性(アンモニア、酢酸、イソ吉草酸)

phコントロール

制電性

吸放湿性

(4) 標識

左胸部及び背面に当本部が指定する文字をプリントすること。内容については下図の通りとする。

(5) その他

氏名片布を本体裾に縫い付けること。

【イメージ図】



雨衣仕様書

1. 型式

上着・ズボン・収納袋3点を1組とする。

上着は、衿収納フード付き、肩ハギなし、胸・袖半分は切り替え配色紺とする。

前面はファスナー開閉式で二重ヒヨクにて覆う。

前身には、切り替えを利用した雨蓋付きポケットを両脇に取り付ける。

袖口は半ゴム半ベルト調節式とする。外袖には指定反射材縫い付け。

裾部には指定反射材を一周縫い付ける。

裾は、屈伸時時、水の侵入を防ぐ為、後身頃を長くし裾口はゴムで調節できるものとする。

背中にはシルク印刷にて指定のネームを入れる。

ズボンは、脇、股下にハギがあるものとし、尻部はシームレス仕様。

前立て部はファスナー開閉式で上部をボタン止めする。

ズボンの裾はファスナーによる開閉式でヒヨクにて覆う。

フードは、衿収納式とする。

2. 表地規格

品名 K-2070-3 L

生地規格	
組織（基布）	平織
混用率	表 ナイロン 100% 防水膜 ウレタン 裏材 ナイロントリコット * 三層構造生地 オレンジ、ネイビー
耐水圧	初期 150kpa 以上
撥水度	初期 90 点以上
透湿度	初期 5,000 g/m ² /24 h 以上

3. 材料

材料	用 途
目貼テープ	各接合部分全般
ファスナー	上 着 ズボン
反射材	上衣背

4. その他

表地接合部分で防水性を必要とする部分には、生地樹脂面より防水用シームテープを貼る。

上着・ズボン・収納袋を一組とし、透明袋に包装する。

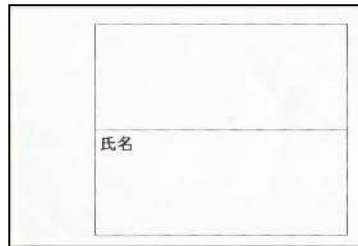
海老名市消防職員用アポロキャップ仕様書

1 型式 丸ワイド型

前中心に指定図柄、底に「月桂樹」を刺繍で入れる。(色・デザインは別紙)

2 仕様材料

- (1) 表生地 フーパイ紡織 梅花メッシュ92Z 紺(M-18)、若しくは同等品
- (2) 裏生地 #838 (前裏を補強すること)、トリコットのり付き 黒 (裏を補強すること)
- (3) 底表生地 本体と共生地
- (4) 底裏生地 本体と共生地
- (5) 底 芯 黒 ポリエチレン 2.5mm厚 Y芯
- (6) テープ テترون 黒
- (7) 穴かがり 同色の天穴6個 9mm
- (8) 底内ぐり T/Cブロード 黒 (解れを防止すること 別紙参照)
- (9) アジャスター YKK製 プラスチック 黒
- (10) 汗止 フィールドセンサー巾4cm(吸汗速乾素材) 黒
中芯有り 裏 ポケットメッシュ黒
- (11) 天釦 芯プラスチック 共生地で包む。
- (12) 頭周り デオドラントテープ
- (13) 前立て #7509 ナイロン100%
- (14) 片布



3 仕様

- (1) レンゲ6枚上方に穴かがりを入れる。
- (2) 丸ワイド型前身1枚とレンゲ6枚を縫い合わせ前立てを付ける。
- (3) 全ての縫目をテープで包む。
- (4) 底は表・裏共に共生地で底芯を包み、ミシンで1本ステッチを入れる。
- (5) 後方に縦幅1.5cmのベルトを本体と共生地で作ри、アジャスターの一方を取り付け、一方を帽子本体に取り付ける。
- (6) 天釦を天井部分に穴をあけ打ち込む。

4 寸法 単位(cm)

S	M	L	LL
55	57	59	61

※上記寸法以外は、別寸にて縫製する。

5 その他

(1) 試作品の提出

縫製にあたり、あらかじめ試作品を提出し、当本部の検査を受けた後、量産にかかること。

(2) 担保期間

納入後1年以内に不具合が発見された場合、業者は当本部担当者と相談の上、補修等の処置を講じなければならない。



肩章エンブレム仕様（消防隊用）

刺繍用マーク地（エンブクロス）に昇華転写プリントをし、裏面にはA面マジックテープを全面に縫い付け縁かがりを丁寧に施す。仕上がりは優美であり、プリントの堅牢度については、下記表のとおりとする。尚、色の指定については、請負業者と協議をし決定する。

染色堅牢度	耐 光	3 以 上	JIS L 0842
	洗 濯 (変)	4 以 上	JIS L 0844A-2 法
	洗 濯 (汚)		
	汗 (変)		JIS L 0848A 法
	汗 (汚)		
	摩 擦 (乾)		JIS L 0849Ⅱ形法



肩章エンブレム仕様（救助隊用）

刺繍用マーク地（エンブクロス）に昇華転写プリントをし、裏面にはA面マジックテープを全面に縫い付け縁かがりを丁寧に施す。仕上がりは優美であり、プリントの堅牢度については、下記表のとおりとする。尚、色の指定については、請負業者と協議をし決定する。

染色 堅牢 度	耐 光	3 以 上	JIS L 0842
	洗 濯 (変)	4 以 上	JIS L 0844A-2 法
	洗 濯 (汚)		
	汗 (変)		JIS L 0848A 法
	汗 (汚)		
	摩 擦 (乾)		JIS L 0849Ⅱ形法



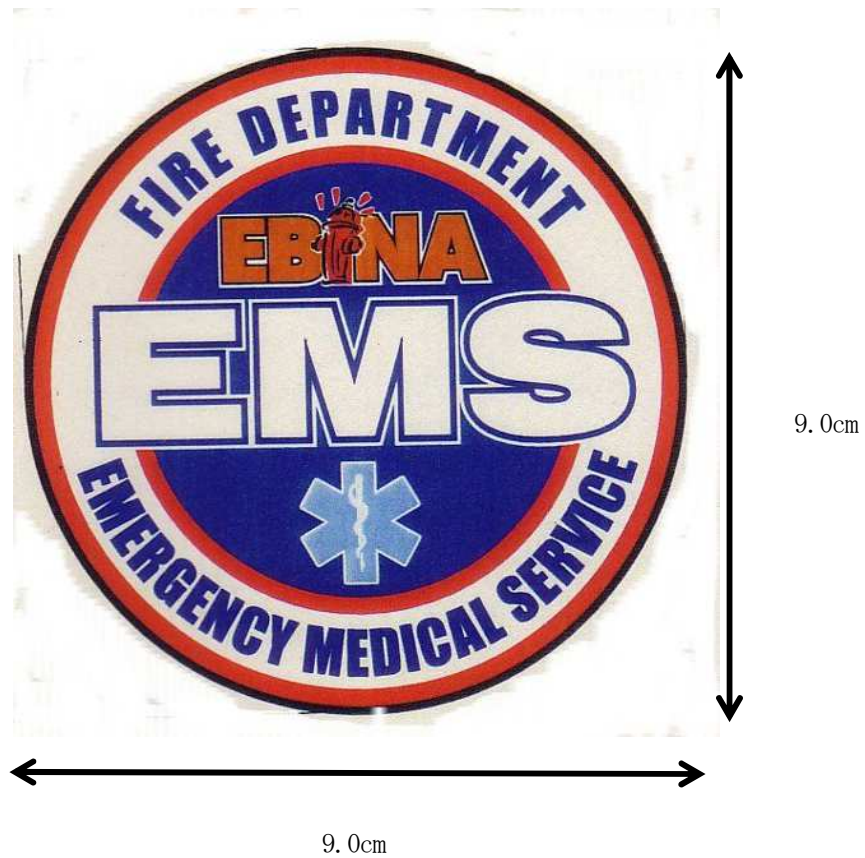
9.5cm

8.0cm

肩章エンブレム仕様（救急隊用）

刺繍用マーク地（エンブクロス）に昇華転写プリントをし、裏面にはA面マジックテープを全面に縫い付け縁かがりを丁寧に施す。仕上がりは優美であり、プリントの堅牢度については、下記表のとおりとする。尚、色の指定については、請負業者と協議をし決定する。

染色 堅牢 度	耐 光	3 以 上	JIS L 0842
	洗 濯 (変)	4 以 上	JIS L 0844A-2 法
	洗 濯 (汚)		
	汗 (変)		JIS L 0848A 法
	汗 (汚)		
	摩 擦 (乾)		JIS L 0849Ⅱ形法



肩章エンブレム仕様（制服用）

刺繍用マーク地（エンブクロス）に昇華転写プリントをし、裏面にはA面マジックテープを全面に縫い付け縁かがりを丁寧に施す。仕上がりは優美であり、プリントの堅牢度については、下記表のとおりとする。尚、色の指定については、請負業者と協議をし決定する。

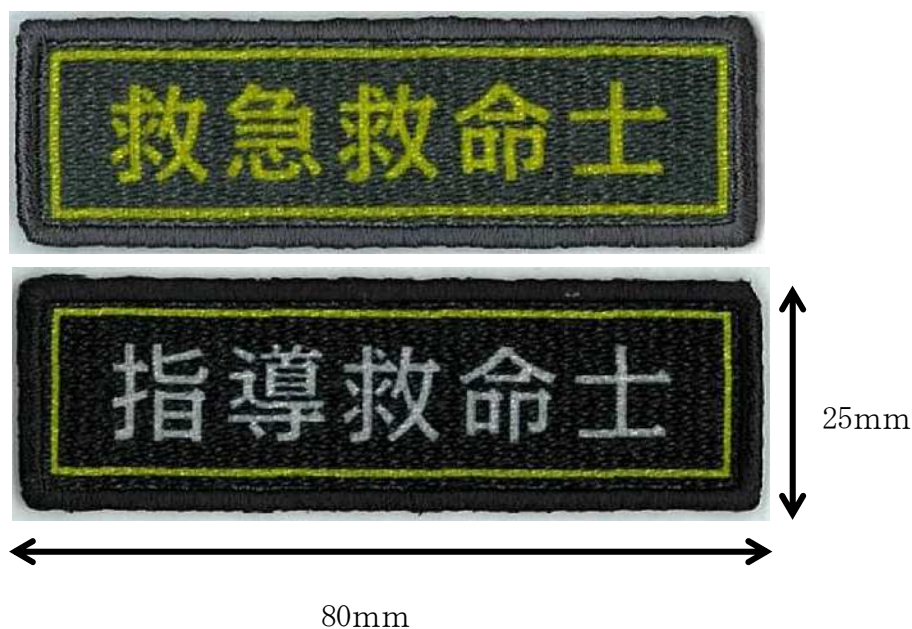
染色 堅牢 度	耐 光	3 以 上	JIS L 0842
	洗 濯 (変)	4 以 上	JIS L 0844A-2 法
	洗 濯 (汚)		
	汗 (変)		JIS L 0848A 法
	汗 (汚)		
	摩 擦 (乾)		JIS L 0849Ⅱ形法



胸章エンブレム仕様（救急隊用）

刺繍用マーク地（エンブクロス）に昇華転写プリントをし、裏面にはA面マジックテープを全面に縫い付け縁かがりを丁寧に施す。仕上がりは優美であり、プリントの堅牢度については、下記表のとおりとする。尚、色の指定については、請負業者と協議をし決定する。

染色 堅牢 度	耐 光	3 以 上	JIS L 0842
	洗 濯 (変)	4 以 上	JIS L 0844A-2 法
	洗 濯 (汚)		
	汗 (変)		JIS L 0848A 法
	汗 (汚)		
	摩 擦 (乾)		JIS L 0849Ⅱ形法



※「救急救命士」及び「指導救命士」とともに同寸法とする。

海老名市消防本部 防寒衣仕様書

(仕 様)

1. 使用材料

(1) 生地一般

- ア 原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものをを使用すること。
- イ 織上がりは均正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものである事。
- ウ 付属品等は、全て使用目的に適合した材質のものである事。

(2) 使用生地は、下記の通りとし、色については、当本部指定色とする。

表生地 帝人(株) T-81920 混率 ポリエステル100%
綾織、エコマーク対応品、防水透湿、帯電防止、軽量素材

(3) ファスナー (引手付)

前合わせ、左右脇ポケット、左上腕ポケット に使用する。

(4) 起毛地 襟、チンガードに使用する。

2. 形 状

中綿入り裏付ブルゾン型、スタンドカラー、前合わせ比翼付ファスナー仕立て、
付け袖、左右ファスナー付脇ポケット、袖口調整ベルト、胸、背プリント付き、
内ケット付きとする。

3. 縫 製

(1) 一般的事項

- ア 各部の縫合いは、優良で縫い代が適当であること。
- イ 縫い目の飛び、外れがないこと。

(2) 上衣

ア 襟

- (ア) スタンドカラーとし、内側は、起毛地を使用しチンガードが取り付けであること。
- (イ) 襟中央に襟つりを縫い付ける。

イ 袖

- (ア) 袖は、2枚袖とし、袖口に調整用のベルトを取り付ける。
- (イ) 袖口内側には二重になるように内袖が内蔵してあること。

ウ 脇ポケット

- (ア) 雨蓋付ポケットを左右脇部に取り付ける
- (イ) ポケット口は、ファスナー開閉式とする。

エ 前合わせ 前合わせの開閉は、比翼付のファスナー式とする。

オ 標識

背部及び左胸部分に当市指定文字及び色にて、反射プリントを入れる。内容は別途指示とする。

カ 中綿

中綿は、3M製シンサレートHL60を使用し中綿と裏地は、中綿が、ずれない様に簡易キルティングが施してあること。

キ 裾 裾ゴムを入れ絞ってあること。

ク 片布 及びサイズ札

片布を裏に縫い付け、サイズ表示については、台襟に挟み縫いをする。

4. 補則

(1) 梱包

適切な方法で、1枚ずつビニール袋に収納し納品する事。

サイズ表

	S	M	L	LL	3L	4L	5L
胸 囲	116	120	124	128	132	136	140
肩 巾	49	51	53	55	57	59	59
袖 丈	58	60	62	64	66	68	68
着 丈	64	66	68	70	72	74	74

【イメージ図】



海老名市消防本部
EBINA FIRE DEPT.



神奈川県
海老名消防
EBINA FIRE DEPT.

入札金額内訳書【消防職員被服購入(単価契約)】

No.	品 名	規 格	備 考	購入予定数量	単価(税抜)	金 額
1	冬制服一式	別紙仕様書のとおり (女性用仕様有)	上衣・ズボン・初タイ・ ベルト・冬制帽	3 式		
2	レンジャー ヘルメット	別紙仕様書のとおり	シルバー	34 個		
3	防火帽 (シコロ付)	〃	回収・処分費を含む (購入数と同数の防火帽 (シコロ付))	3 個		
4	防火衣上衣	〃		18 着		
5	防火衣ズボン	〃		18 本		
6	防火フード	ZIRPWOL製 防火フード ガイドライン対応品 (同等品可)		3 着		
7	胴ベルト型 墜落制止用器具	サンコー株式会社 OT-FR3N-130-SS0-BL (同等品可)	回収・処分費を含む (購入数と同数の胴ベルト 型墜落制止用器具)	80 本		
8	墜落制止用器具用 ランヤード	サンコー株式会社 PL-FR3N-SS0-130 (同等品可)		20 個		
9	墜落制止用器具用 D環	サンコー株式会社 50D (同等品可)		20 個		
10	墜落制止用器具用 D環止め	サンコー株式会社 50KD (同等品可)		20 個		
11	活動服上衣	別紙仕様書 のとおり		28 着		
12	活動服ズボン	〃		45 本		
13	救助服上衣	〃		16 着		
14	救助服ズボン	〃		16 本		
15	夏救急服上衣	〃		1 着		
16	夏救急服ズボン	〃		10 本		
17	冬救急服上衣	〃		2 着		
18	冬救急服ズボン	〃		5 本		
19	夏制帽	〃		3 個		
20	夏制服上衣	〃	長袖	7 着		

入札金額内訳書【消防職員被服購入(単価契約)】

No.	品 名	規 格	備 考	購入予定数量	単価(税抜)	金 額
21	夏制服ズボン	〃		9 本		
22	夏半袖作業着 (上衣)	別紙仕様書のとおり	半袖	2 着		
23	簡易作業着	〃	半袖 (白)	11 着		
24		〃	半袖 (オレンジ)	3 着		
25		〃	半袖 (紺)	89 着		
26		〃	長袖	49 着		
27	ゴーグル	SWANS SS-7000CL クイックベルト プロユース セフティゴーグル	フレームカラー：ブラック シリコーンベルト、 YCPクリップ付 レンズ厚：2.4mm	11 個		
28	雨 衣	別紙仕様書の のとお		20 着		
29	アポロキャップ	〃		20 個		
30	各隊 エンブレム (ワッペン)	〃	制服用 (肩章エンブレム)	3 個		
31		〃	消防隊用 (肩章エンブレム)	15 個		
32		〃	救助隊用 (肩章エンブレム)	3 個		
33		〃	救急隊用 (肩章エンブレム)	6 個		
34		〃	救急救命士用 (胸章エンブレム)	2 個		
35		〃	指導救命士用 (胸章エンブレム)	2 個		
36	制服用ベルト	黒色皮製とし、バックルは消防 官徽章の風防バックルとする		8 本		
37	布ベルト	ナイロン2ヒンバックル カバー付		37 本		
38	救急隊用 ベルト	トンボ製 GB-E38W-100		18 本		
39	防寒衣	別紙仕様書の のとお		37 着		
40	救急服替衿	納品する救急服に 取り付け可能なもの 白の替襟とする		27 枚		
41	防火手袋	㈱トンボ製 K-A175NV		52 双		
42	レンジャー 手袋	㈱トンボ製 人工皮革手袋 E-127R		86 双		
43	ケブラー 手袋	㈱トンボ製 K-501R		73 双		
44	網上げ靴 (布)	ミドリ安全 R T 541 F P-4 C A P		3 足		
45	網上げ靴No.1 (革)	FS JAPAN MOZE RJ-1		30 足		
46	網上げ靴No.2 (革)	シモン WS33		17 足		

入札金額内訳書【消防職員被服購入(単価契約)】

No.	品 名	規 格	備 考	購入予定数量	単価(税抜)	金 額
47	消防隊用長靴	イマジョー 高視認性防火長靴 T X 7 7 7 H V		12 足		
48	ゴム長靴	シバタ工業製 KN型消防マーク付		1 足		
49	短 靴	ミドリ安全 RT1326		14 足		
50	短 靴 (救急隊用)	シモン RT119静電		15 足		
51	救急 病院実習 白衣	ナガイ製 KES-5167(上) KES-5163(下)		1 着		
52	ヘッドライト 1	P E T Z L ピクサ3 E 7 8 C H B		9 個		
53	ヘッドライト 2	PELICAN 2690		7 個		
54	高耐久シリコンバンド	幅 2 cm×長さ85cm ×厚さ 2 mm 長時間発光(蓄光)	ヘッドライト用	28 個		
55	革手袋	富士グローブ C N 3 2 3	初任教育生消防学校用 1名あたり2双	6 双		
56	白手袋	ナイロン製 スナップボタン式	初任教育生消防学校用 1名あたり1双	3 双		
57	保護メガネNo.1	YAMAMOTO Y X-6 0 0		7 個		
58	保護メガネNo.2	b o l l e トライオン O T G		2 個		
59	レンジャーヘルメット用 ヘッドバンド	別紙レンジャーヘルメット 仕様書のとおり		32 個		
入札金額合計						

単価内訳書【消防職員被服購入(単価契約)】

No.	品 名	規 格	備 考	購入予定数量	単価(税抜)
1	冬制服一式	別紙仕様書のとおり (女性用仕様有)	上衣・ズボン・ネクタイ・ ベルト・冬制帽	3 式	
2	レンジャー ヘルメット	別紙仕様書のとおり	シルバー	34 個	
3	防火帽 (シコロ付)	〃	回収・処分費を含む (購入数と同数の防火帽 (シコロ付))	3 個	
4	防火衣上衣	〃		18 着	
5	防火衣ズボン	〃		18 本	
6	防火フード	ZIRPWOL製 防火フード ガイドライン対応品 (同等品可)		3 着	
7	胴ベルト型 墜落制止用器具	サンコー株式会社 OT-FR3N-130-SS0-BL (同等品可)	回収・処分費を含む (購入数と同数の胴ベルト 型墜落制止用器具)	80 本	
8	墜落制止用器具用 ランヤード	サンコー株式会社 PL-FR3N-SS0-130 (同等品可)		20 個	
9	墜落制止用器具用 D環	サンコー株式会社 50D (同等品可)		20 個	
10	墜落制止用器具用 D環止め	サンコー株式会社 50KD (同等品可)		20 個	
11	活動服上衣	別紙仕様書 のとおり		28 着	
12	活動服ズボン	〃		45 本	
13	救助服上衣	〃		16 着	
14	救助服ズボン	〃		16 本	
15	夏救急服上衣	〃		1 着	
16	夏救急服ズボン	〃		10 本	
17	冬救急服上衣	〃		2 着	
18	冬救急服ズボン	〃		5 本	
19	夏制帽	〃		3 個	
20	夏制服上衣	〃	長袖	7 着	

単価内訳書【消防職員被服購入(単価契約)】

No.	品 名	規 格	備 考	購入予定数量	単価(税抜)
21	夏制服ズボン	〃		9 本	
22	夏半袖作業着(上衣)	別紙仕様書のとおり	半袖	2 着	
23	簡易作業着	〃	半袖(白)	11 着	
24		〃	半袖(オレンジ)	3 着	
25		〃	半袖(紺)	89 着	
26		〃	長袖	49 着	
27	ゴーグル	SWANS SS-7000CL クイックベルト プロユース セフティゴーグル	フレームカラー:ブラック シリコーンベルト、 YCPクリップ付 レンズ厚:2.4mm	11 個	
28	雨 衣	別紙仕様書の のとお		20 着	
29	アポロキャップ	〃		20 個	
30	各隊 エンブレム (ワッペン)	〃	制服用 (肩章エンブレム)	3 個	
31		〃	消防隊用 (肩章エンブレム)	15 個	
32		〃	救助隊用 (肩章エンブレム)	3 個	
33		〃	救急隊用 (肩章エンブレム)	6 個	
34		〃	救急救命士用 (胸章エンブレム)	2 個	
35		〃	指導救命士用 (胸章エンブレム)	2 個	
36	制服用ベルト	黒色皮製とし、バックルは消防 官徽章の風防バックルとする		8 本	
37	布ベルト	ナイロン2ピッチバックル カバー付		37 本	
38	救急隊用 ベルト	トンボ製 GB-E38W-100		18 本	
39	防寒衣	別紙仕様書の のとお		37 着	
40	救急服替衿	納品する救急服に 取り付け可能なもの 白の替襟とする		27 枚	
41	防火手袋	㈱トンボ製 K-A175NV		52 双	
42	レンジャー 手袋	㈱トンボ製 人工皮革手袋 E-127R		86 双	
43	ケブラー 手袋	㈱トンボ製 K-501R		73 双	
44	網上げ靴 (布)	ミドリ安全 R T541F P-4 C A P		3 足	
45	網上げ靴No.1 (革)	FS JAPAN MOZE RJ-1		30 足	
46	網上げ靴No.2 (革)	シモン WS33		17 足	

単価内訳書【消防職員被服購入(単価契約)】

No.	品 名	規 格	備 考	購入予定数量	単価(税抜)
47	消防隊用長靴	イマジョー 高視認性防火長靴 T X 7 7 7 H V		12 足	
48	ゴム長靴	シバタ工業製 KN型消防マーク付		1 足	
49	短 靴	ミドリ安全 RT1326		14 足	
50	短 靴 (救急隊用)	シモン RT119 静電		15 足	
51	救急 病院実習 白衣	ナガイ製 KES-5167(上) KES-5163(下)		1 着	
52	ヘッドライト 1	P E T Z L ピクサ 3 E 7 8 C H B		9 個	
53	ヘッドライト 2	PELICAN 2690		7 個	
54	高耐久シリコンバンド	幅 2 cm × 長さ 85 cm × 厚さ 2 mm 長時間発光 (蓄光)	ヘッドライト用	28 個	
55	革手袋	富士グローブ C N 3 2 3	初任教育生消防学校用 1 名あたり 2 双	6 双	
56	白手袋	ナイロン製 スナップボタン式	初任教育生消防学校用 1 名あたり 1 双	3 双	
57	保護メガネNo. 1	YAMAMOTO Y X - 6 0 0		7 個	
58	保護メガネNo. 2	b o l l e トライオン O T G		2 個	
59	レンジャーヘルメット用 ヘッドバンド	別紙レンジャーヘルメット 仕様書のとおり		32 個	